

KGA GOLFERS NEWS

関東ゴルフ連盟

関東倶楽部対抗特集号

別冊付録

保存版 2010 年関東倶楽部対抗
出場全倶楽部 競技成績 男子・女子



関東倶楽部対抗
優勝
袖ヶ浦
カンツリークラブ



関東女子
倶楽部対抗
～報知杯～
優勝
霞ヶ関
カンツリー倶楽部

ONE FOR ALL の心意気



団体初優勝、中村が個人優勝を飾り、我が国のゴルフ発展の原動力となりました。

今年、創立75周年を迎えた関東ゴルフ連盟(KGA)も、関東八倶楽部による倶楽部対抗が発足の契機でした。

スコットランドに発祥したゴルフは、当初、マッチプレーで競われていました。ストロークプレーが主流になってからも団体戦の歴史は浅く、米国対英(現在は欧州ツアー)の対抗戦であるライダーカップは、1927年に第1回大会が開催しました。

名誉を重んじるこの大会には賞金がないばかりか、ユニフォームからゴルフバッグなどに至るまで、コマースリズムが一切排されています。

国別対抗戦のカナダカップ(現在のワールドカップ)は1953年から毎年行われ、日本(霞ヶ関カンツリー倶楽部)で初めて開催された57年の第5回大会では、小野光一と中村寅吉のコンビが、

関東倶楽部対抗のキャッチフレーズ「ONE FOR ALL・ALL FOR ONE」は、アレクサンドル・デュマ・ペールの小説『ダルタニアン物語(三銃士)』の、フランス語の英訳が典拠とされます。邦訳には「一人は皆のために、皆は一人のために」とあり、文学的な美しい表現です。チームメイト同士の合言葉なら「LET'S DO IT!」(お互いに頑張ろう!)と、声をあげるでしょう。

ONE FOR ALLは広義に「ひとつの倶楽部は全倶楽部のために」と解釈できます。実はKGA創立の精神は、対抗戦を通して倶楽部同士の親睦を深めることにあったのです。

私たちは先達の崇高な心意気を大切に守り、この華やかな球宴を、KGA全加盟倶楽部で謳歌しようではありませんか。

KGA広報委員会

委員長 塚原 裕
副委員長 片山晴美
委員 塩田 正一
堀越 克子
西田 美千子
本條 強
増田 裕明
吉田 裕明
参与 足立 寛
福島 靖

関東ゴルフ連盟
広報委員会委員長 塚原 裕

KGA GOLFERS NEWS

NO. 104

2010年9月20日発行
関東ゴルフ連盟
Kanto Golf Association

CONTENTS

巻頭言
決勝競技
ブロック予選競技

関東倶楽部対抗特集号

1 ONE FOR ALLの心意気(塚原裕KGA広報委員会委員長)

2 関東倶楽部対抗・男子(霞ヶ関カンツリー倶楽部)

8 新潟ブロック(フォレストカントリー倶楽部)

10 長野ブロック(豊科カントリー倶楽部)

12 山梨ブロック(都ゴルフ倶楽部)

14 群馬第1ブロック(伊香保カントリークラブ)

16 群馬第2ブロック(レーサムゴルフ&スパリゾート)

18 栃木第1ブロック(東ノ宮カントリークラブ)

20 栃木第2ブロック(風月カントリー倶楽部)

22 栃木第3ブロック(鹿沼72カントリークラブ)

24 茨城第1ブロック(富士カントリー笠間倶楽部)

26 茨城第2ブロック(扶桑カントリー倶楽部)

28 埼玉第1ブロック(埼玉ゴルフクラブ)

30 埼玉第2ブロック(石坂ゴルフ倶楽部)

32 千葉第1ブロック(我孫子ゴルフ倶楽部)

34 千葉第2ブロック(京葉カントリー倶楽部)

36 千葉第3ブロック(ロイヤルスターゴルフクラブ)

38 東京ブロック(東京国際ゴルフ倶楽部)

40 神奈川ブロック(箱根カントリー倶楽部)

42 静岡ブロック(富士カントリークラブ)

決勝競技
ブロック予選競技

46 関東女子倶楽部対抗～報知杯～(狭山ゴルフクラブ)

52 新潟ブロック(新津カントリークラブ)

54 山梨ブロック(甲斐駒カントリークラブ)

56 群馬ブロック(草津カントリークラブ)

58 栃木ブロック(宇都宮カンツリークラブ)

60 茨城ブロック(日立ゴルフクラブ)

62 埼玉ブロック(鳩山カントリークラブ)

64 千葉ブロック(新千葉カントリー倶楽部)

66 東京ブロック(八王子カントリークラブ)

68 神奈川ブロック(相模カンツリー倶楽部)

DATA FILE

6 男子・優勝倶楽部チーム紹介

44 男子・予選、決勝競技データ

50 女子・優勝倶楽部チーム紹介

70 女子・ギャラリー写真ルポ

72 From KGA

保存版 別冊付録

2010年関東倶楽部対抗 出場全倶楽部 競技成績 男子・女子

関東倶楽部対抗・男子決勝競技開催の霞ヶ関カンツリー倶楽部

平成22年度 関東倶楽部対抗
決勝競技



フィニッシュの時点でプレーヤーに成し得ることは、ボールの落下地点の確認だけ。でも応援団の願いはボールに乗せて、奇跡の結果を信じている。



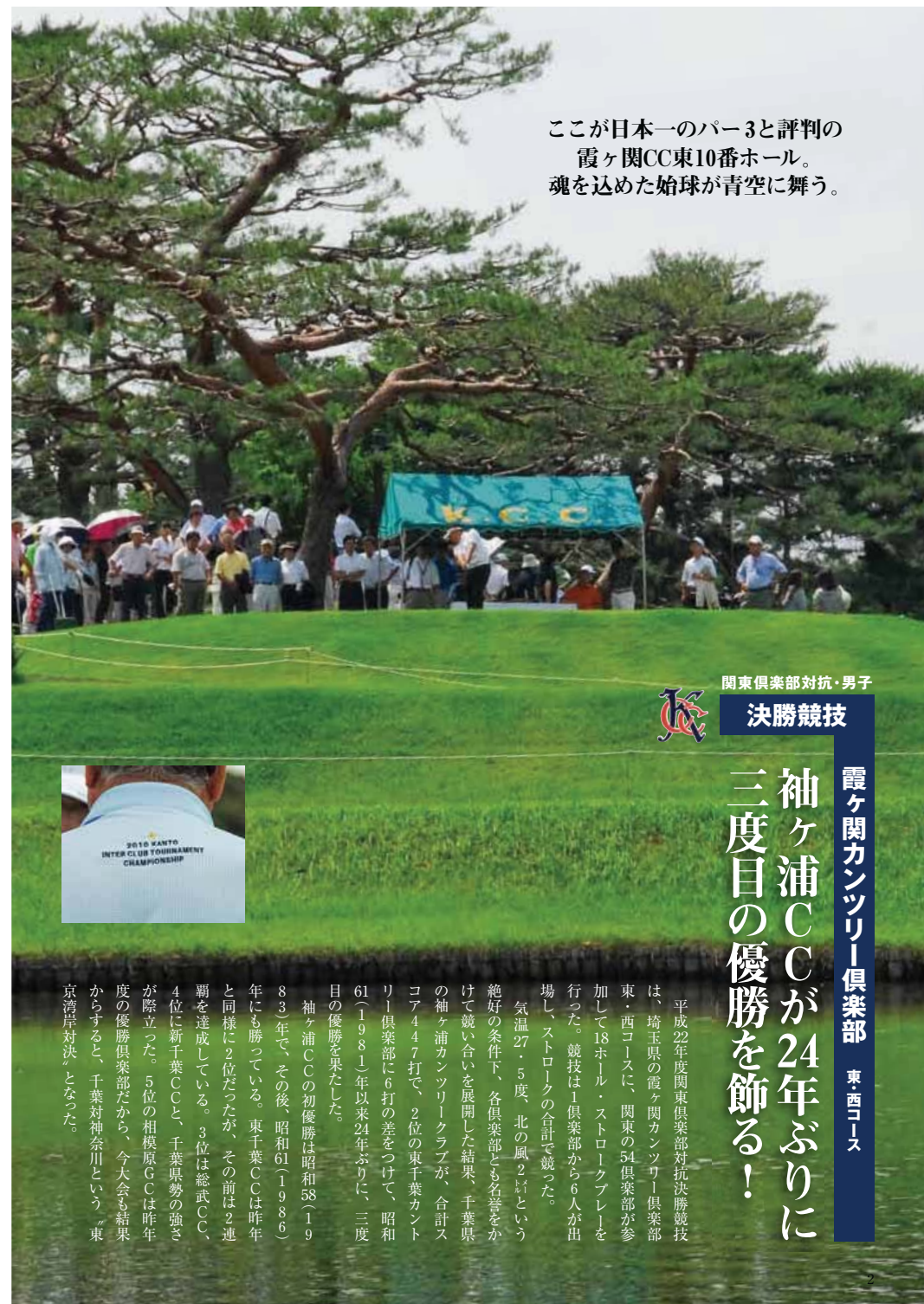
自分の技量を最大限に発揮できれば、それだけでいい。ショットバリュー（1打の価値）こそ、団体戦のすべてだ。

競技を終え、歓談中の代表選手の声を集めてみた。
「ホスト倶楽部としての礼儀で、表彰式用のシャツを新調しました。最高のコンディションを提供できたことを、誇りに思います」（霞ヶ関CCの代表選手）。
「各選手が1打ずつスコアを縮めてくれれば……、それが団体戦の難しさでしょ



関東の八倶楽部の対抗競技を契機に発足した関東ゴルフ連盟（KGA）は今年、創立75周年を迎えた。その八倶楽部のうち、我孫子GCC、霞ヶ関CC、鷹之台CC、東京GCC（50音順）、4倶楽部が揃って決勝に出場し、この記念すべき球宴に、華を添えることとなった。ちなみに昨年は鷹之台CCが決勝進出を果たしたのみだから、75年の記念大会に、バトンを受け継いだ選手各位の頑張りは、称賛に値しよう。

ここが日本一のパー3と評判の霞ヶ関CC東10番ホール。魂を込めた始球が青空に舞う。



関東倶楽部対抗・男子



決勝競技

霞ヶ関カンツリー倶楽部 東・西コース

袖ヶ浦CCが24年ぶりに
三度目の優勝を飾る！

平成22年度関東倶楽部対抗決勝競技は、埼玉県霞ヶ関カンツリー倶楽部東・西コースに、関東の54倶楽部が参加して18ホール・ストロークプレーを行った。競技は1倶楽部から6人が出場し、ストロークの合計で競った。
気温27・5度、北の風2という絶好の条件下、各倶楽部とも名誉をかけて競い合いを展開した結果、千葉県の袖ヶ浦カンツリークラブが、合計スコア447打で、2位の東千葉カントリー倶楽部に6打の差をつけて、昭和61（1986）年以来24年ぶりに、三度目の優勝を果たした。
袖ヶ浦CCの初優勝は昭和58（1983）年で、その後、昭和61（1986）年にも勝っている。東千葉CCは昨年と同様に2位だったが、その前は2連覇を達成している。3位は総武CC、4位に新千葉CCと、千葉県勢の強さが際立った。5位の相模原GCCは昨年度の優勝倶楽部だから、今大会も結果からすると、千葉対神奈川という「東京湾岸対決」となった。

平成22年度 関東倶楽部対抗 決勝競技

平成22年6月21日(月) 霞ヶ間カンツリー倶楽部 東・西コース
Aクラス・西コース(6580Y・Par73) / Bクラス・東コース(6937Y・Par72)
参加倶楽部数: 54 Aクラス3名、Bクラス3名出場 / 全選手の合計スコア



2位 東千葉カントリー倶楽部 / 453



3位 総武カントリークラブ / 456



4位 新千葉カントリー倶楽部 / 457



5位 相模原ゴルフクラブ / 467



優勝 袖ヶ浦カントリークラブ / 447



竹田理事長から優勝盾を授与される袖ヶ浦チームの阪田哲男君は、Aクラスの最優秀選手(下)。Bクラス最優秀選手の秋元一男君(左)と金浩延君(右)は、3人ともに71のスコアだった。



う」(某倶楽部のキャプテン)。「去年が不完全燃焼でしたので、今年は新キャプテンで巻き返し。他倶楽部は練習ラウンド3回も当たり前でしょうが、私たちは1回のみで決勝に集中しました」(袖ヶ浦CCの代表選手)。「乗用車5台に分乗して、新潟への帰りは2時間半か3時間。来年もまた厳しい予選からです」(下田城CCの代表選手)。「大勢のギャラリーの前で、緊張を楽しみつつプレーできる喜びを感じました」(袖ヶ浦CCの阪田哲男キャプテン)



サポーターも揃いのユニフォームで。



競技委員は裁判官ではなく、ルールのアドバイザーなのだ。炎天下の応援、無理は禁物！



先達のDNAは関東の全諸君に

関東ゴルフ連盟創立75周年記念大会となる今年、KGA創立時に結集した8倶楽部のうち、4倶楽部が決勝競技に出場した。我孫子GC、霞ヶ間CC、鷹之台CC、東京GCの各位揃っての記念撮影では、この日を祝って、まだ明るい陽光がステージライトのように照らしていた。



そんなに力を入れないで
普段のゴルフを大切に！

(袖ヶ浦CCキャプテン・阪田哲男さん)

野球ならエースで四番打者の、
阪田哲男キャプテンを擁する袖ヶ浦CCチーム。
ゴルフへの熱き思いと社会人としての日常生活が、
アンケート調査で見えてきた。(掲載は回答の到着順)

家庭的な倶楽部に
健全なゴルフアが結集

開場50周年を迎える袖ヶ浦カンツ
リークлубは新旧、和と洋が見事に
マッチしている。

袖ヶ浦CC袖ヶ浦コースのモダンな
クラブハウスは、巨大な吹き抜けの開
放的なロビーの壁面に、先覚者のレリ
ーフを掲げて偉業を讃えている。また倶
楽部競技の優勝者名を、金属板に刻印
して顕彰する。

このパブリック
スペースを明る
いミュージアム(美
術館)風とする一
方、そこがスタジ
アム(競技場)であ
るを意識させる演
出もある。コース
に出る通路の光を
遮って暗くし、そ
こで気合いを入れ
てから、陽光の降
り注ぐフィールド
へと飛び出すとい
う設定だ。

ブリヂストンオー
プン開催は、今年で39
回大会を迎える。

モダンなインテリアな
がら、倶楽部の伝統は
演出されている。

コースがまた戦
略的なモダン設計
である反面、敷地
内には土着信仰の
遺跡や縄文時代の



名前	阪田哲男さん	布川義久さん	布施敬三さん	杉浦保幸さん
年齢	61歳	38歳	57歳	58歳
血液型	O型	O型	A型	A型
ゴルフ歴	47年	22年	45年	38年
ゴルフを始めた動機	父親と一緒に	ゴルフアー家に生まれたため、自然とやるようになった	父、兄がゴルフをしていたため	テレビを観て
初ラウンドのスコア	80	覚えていません	90ぐらい	120ぐらい
現在のラウンドの平均スコア	73～74	76	75	78
ワンラウンドの平均バット数	32	28	28	33～34
ドライバーの平均飛距離	240ヤード	280ヤード	250ヤード	250ヤード
年間のラウンド数	90回	60回	80回	60回
毎月の練習量	月に10回で1回に10球	ラウンド後に少し球を打つ程度	月に10回で1回に50球	月に4回で1回に100球
得意技	全部	アプローチ、バット	アイアン、アプローチ	ドライバー
不得意	なし	ドライバー	バット	アプローチ
尊敬するゴルファー	故・鍋島直要氏	阪田哲男さん	父親	阪田哲男さん
ゴルフで一番大切なこと	集中力	アドレス	自分を信じること、マナーとエチケット	1打を大切に
今後の目標	100勝と関東シニア2連覇	袖ヶ浦CCのクラブチャンピオン	阪田哲男さんに勝つこと	友人を大切に、ゴルフを楽しみたい

休日	毎週日曜日はゴルフ場	子供と遊ぶ	ゴルフ、サイクリング、トレッキング	ゴルフ
日頃の健康管理	特になが、よく歩く	寝ること	食事に気を遣う	特になし
ゴルフ以外の趣味	釣り	ドライブ	サイクリング、トレッキング、映画(洋画)、旅行	—
過去のスポーツ歴	野球	野球、水泳	バスケットボール	バスケットボール、10年間
トレーニングなどの運動	特にしない	水泳	ウォーキング、ストレッチ	—
酒	酒豪	付き合い程度	飲まない	少々
タバコ	たまに吸う	吸わない	吸わない	吸わない
好きな食べ物	魚、野菜	グレープフルーツ	果物、肉、魚、新鮮野菜	イタリアン
苦手な食べ物	特になし	梅干し	油っこいもの、フライ	—
関東倶楽部対抗、出場選手へひと言	アマチュアなのでそんなに力を入れないで、普段のゴルフを大切に。	一緒にゴルフを楽しみましょう。	結果を求めず、楽しく自分自身のゴルフをしましょう！	チームメイトと楽しくプレーしてください。

コースがまた戦
略的なモダン設計
である反面、敷地
内には土着信仰の
遺跡や縄文時代の



名前	柳澤信吾さん	吳山淳一さん	榎本剛之さん	水上晃男さん
年齢	45歳	67歳	38歳	43歳
血液型	O型	O型	A型	A型
ゴルフ歴	28年	29年	28年	26年
ゴルフを始めた動機	父の勧め	友人の勧め	父の影響	両親の影響
初ラウンドのスコア	88	105ぐらい	?	110
現在のラウンドの平均スコア	73	80ぐらい	75	73
ワンラウンドの平均バット数	?	32ぐらい	28	28
ドライバーの平均飛距離	260ヤード	235ヤード	250ヤード	270ヤード
年間のラウンド数	60回	10回	60回	100回
毎月の練習量	月に10回で1回に100球	月に12回で1回に200球	月に4回で1回に150球	月に4回で1回に50球
得意技	バット	ドライバー	バット	アプローチ
不得意	なし	アプローチ	アイアン	なし
尊敬するゴルファー	阪田哲男さん	阪田哲男さん、レティーフ・グーセン	阪田哲男さん	阪田哲男さん
ゴルフで一番大切なこと	諦めないこと	集中力	我慢	マナーと健康管理
今後の目標	—	楽しくプレーすること	日本アマ出場	年をとっても競技ゴルフを続ける

休日	毎週日曜日はゴルフ場	子供と遊ぶ	ゴルフ、サイクリング、トレッキング	ゴルフ
日頃の健康管理	特になが、よく歩く	寝ること	食事に気を遣う	特になし
ゴルフ以外の趣味	釣り	ドライブ	サイクリング、トレッキング、映画(洋画)、旅行	—
過去のスポーツ歴	野球	野球、水泳	バスケットボール	バスケットボール、10年間
トレーニングなどの運動	特にしない	水泳	ウォーキング、ストレッチ	—
酒	酒豪	付き合い程度	飲まない	少々
タバコ	たまに吸う	吸わない	吸わない	吸わない
好きな食べ物	魚、野菜	グレープフルーツ	果物、肉、魚、新鮮野菜	イタリアン
苦手な食べ物	特になし	梅干し	油っこいもの、フライ	—
関東倶楽部対抗、出場選手へひと言	アマチュアなのでそんなに力を入れないで、普段のゴルフを大切に。	一緒にゴルフを楽しみましょう。	結果を求めず、楽しく自分自身のゴルフをしましょう！	チームメイトと楽しくプレーしてください。

コースがまた戦
略的なモダン設計
である反面、敷地
内には土着信仰の
遺跡や縄文時代の



名前	柳澤信吾さん	吳山淳一さん	榎本剛之さん	水上晃男さん
年齢	45歳	67歳	38歳	43歳
血液型	O型	O型	A型	A型
ゴルフ歴	28年	29年	28年	26年
ゴルフを始めた動機	父の勧め	友人の勧め	父の影響	両親の影響
初ラウンドのスコア	88	105ぐらい	?	110
現在のラウンドの平均スコア	73	80ぐらい	75	73
ワンラウンドの平均バット数	?	32ぐらい	28	28
ドライバーの平均飛距離	260ヤード	235ヤード	250ヤード	270ヤード
年間のラウンド数	60回	10回	60回	100回
毎月の練習量	月に10回で1回に100球	月に12回で1回に200球	月に4回で1回に150球	月に4回で1回に50球
得意技	バット	ドライバー	バット	アプローチ
不得意	なし	アプローチ	アイアン	なし
尊敬するゴルファー	阪田哲男さん	阪田哲男さん、レティーフ・グーセン	阪田哲男さん	阪田哲男さん
ゴルフで一番大切なこと	諦めないこと	集中力	我慢	マナーと健康管理
今後の目標	—	楽しくプレーすること	日本アマ出場	年をとっても競技ゴルフを続ける

休日	毎週日曜日はゴルフ場	子供と遊ぶ	ゴルフ、サイクリング、トレッキング	ゴルフ
日頃の健康管理	特になが、よく歩く	寝ること	食事に気を遣う	特になし
ゴルフ以外の趣味	釣り	ドライブ	サイクリング、トレッキング、映画(洋画)、旅行	—
過去のスポーツ歴	野球	野球、水泳	バスケットボール	バスケットボール、10年間
トレーニングなどの運動	特にしない	水泳	ウォーキング、ストレッチ	—
酒	酒豪	付き合い程度	飲まない	少々
タバコ	たまに吸う	吸わない	吸わない	吸わない
好きな食べ物	魚、野菜	グレープフルーツ	果物、肉、魚、新鮮野菜	イタリアン
苦手な食べ物	特になし	梅干し	油っこいもの、フライ	—
関東倶楽部対抗、出場選手へひと言	アマチュアなのでそんなに力を入れないで、普段のゴルフを大切に。	一緒にゴルフを楽しみましょう。	結果を求めず、楽しく自分自身のゴルフをしましょう！	チームメイトと楽しくプレーしてください。

コースがまた戦
略的なモダン設計
である反面、敷地
内には土着信仰の
遺跡や縄文時代の



名前	柳澤信吾さん	吳山淳一さん	榎本剛之さん	水上晃男さん
年齢	45歳	67歳	38歳	43歳
血液型	O型	O型	A型	A型
ゴルフ歴	28年	29年	28年	26年
ゴルフを始めた動機	父の勧め	友人の勧め	父の影響	両親の影響
初ラウンドのスコア	88	105ぐらい	?	110
現在のラウンドの平均スコア	73	80ぐらい	75	73
ワンラウンドの平均バット数	?	32ぐらい	28	28
ドライバーの平均飛距離	260ヤード	235ヤード	250ヤード	270ヤード
年間のラウンド数	60回	10回	60回	100回
毎月の練習量	月に10回で1回に100球	月に12回で1回に200球	月に4回で1回に150球	月に4回で1回に50球
得意技	バット	ドライバー	バット	アプローチ
不得意	なし	アプローチ	アイアン	なし
尊敬するゴルファー	阪田哲男さん	阪田哲男さん、レティーフ・グーセン	阪田哲男さん	阪田哲男さん
ゴルフで一番大切なこと	諦めないこと	集中力	我慢	マナーと健康管理
今後の目標	—	楽しくプレーすること	日本アマ出場	年をとっても競技ゴルフを続ける

休日	毎週日曜日はゴルフ場	子供と遊ぶ	ゴルフ、サイクリング、トレッキング	ゴルフ
日頃の健康管理	特になが、よく歩く	寝ること	食事に気を遣う	特になし
ゴルフ以外の趣味	釣り	ドライブ	サイクリング、トレッキング、映画(洋画)、旅行	—
過去のスポーツ歴	野球	野球、水泳	バスケットボール	バスケットボール、10年間
トレーニングなどの運動	特にしない	水泳	ウォーキング、ストレッチ	—
酒	酒豪	付き合い程度	飲まない	少々
タバコ	たまに吸う	吸わない	吸わない	吸わない
好きな食べ物	魚、野菜	グレープフルーツ	果物、肉、魚、新鮮野菜	イタリアン
苦手な食べ物	特になし	梅干し	油っこいもの、フライ	—
関東倶楽部対抗、出場選手へひと言	アマチュアなのでそんなに力を入れないで、普段のゴルフを大切に。	一緒にゴルフを楽しみましょう。	結果を求めず、楽しく自分自身のゴルフをしましょう！	チームメイトと楽しくプレーしてください。

コースがまた戦
略的なモダン設計
である反面、敷地
内には土着信仰の
遺跡や縄文時代の



名前	柳澤信吾さん	吳山淳一さん	榎本剛之さん	水上晃男さん
年齢	45歳	67歳	38歳	43歳
血液型	O型	O型	A型	A型
ゴルフ歴	28年	29年	28年	26年
ゴルフを始めた動機	父の勧め	友人の勧め	父の影響	両親の影響
初ラウンドのスコア	88	105ぐらい	?	110
現在のラウンドの平均スコア	73	80ぐらい	75	73
ワンラウンドの平均バット数	?	32ぐらい	28	28
ドライバーの平均飛距離	260ヤード	235ヤード	250ヤード	270ヤード
年間のラウンド数	60回	10回	60回	100回
毎月の練習量	月に10回で1回に100球	月に12回で1回に200球	月に4回で1回に150球	月に4回で1回に50球
得意技	バット	ドライバー	バット	アプローチ
不得意	なし	アプローチ	アイアン	なし
尊敬するゴルファー	阪田哲男さん	阪田哲男さん、レティーフ・グーセン	阪田哲男さん	阪田哲男さん
ゴルフで一番大切なこと	諦めないこと	集中力	我慢	マナーと健康管理
今後の目標	—	楽しくプレーすること	日本アマ出場	年をとっても競技ゴルフを続ける

休日	毎週日曜日はゴルフ場	子供と遊ぶ	ゴルフ、サイクリング、トレッキング	ゴルフ
日頃の健康管理	特になが、よく歩く	寝ること	食事に気を遣う	特になし
ゴルフ以外の趣味	釣り	ドライブ	サイクリング、トレッキング、映画(洋画)、旅行	—
過去のスポーツ歴	野球	野球、水泳	バスケットボール	バスケットボール、10年間
トレーニングなどの運動	特にしない	水泳	ウォーキング、ストレッチ	—
酒	酒豪	付き合い程度	飲まない	少々
タバコ	たまに吸う	吸わない	吸わない	吸わない
好きな食べ物	魚、野菜	グレープフルーツ	果物、肉、魚、新鮮野菜	イタリアン
苦手な食べ物	特になし	梅干し	油っこいもの、フライ	—
関東倶楽部対抗、出場選手へひと言	アマチュアなのでそんなに力を入れないで、普段のゴルフを大切に。	一緒にゴルフを楽しみましょう。	結果を求めず、楽しく自分自身のゴルフをしましょう！	チームメイトと楽しくプレーしてください。

コースがまた戦
略的なモダン設計
である反面、敷地
内には土着信仰の
遺跡や縄文時代の



名前	柳澤信吾さん	吳山淳一さん	榎本剛之さん	水上晃男さん
年齢	45歳	67歳	38歳	43歳
血液型	O型	O型	A型	A型
ゴルフ歴	28年	29年	28年	26年
ゴルフを始めた動機	父の勧め	友人の勧め	父の影響	両親の影響
初ラウンドのスコア	88	105ぐらい	?	110
現在のラウンドの平均スコア	73	80ぐらい	75	73
ワンラウンドの平均バット数	?	32ぐらい	28	28
ドライバーの平均飛距離	260ヤード	235ヤード	250ヤード	270ヤード
年間のラウンド数	60回	10回	60回	100回
毎月の練習量	月に10回で1回に100球	月に12回で1回に200球	月に4回で1回に150球	月に4回で1回に50球
得意技	バット	ドライバー	バット	アプローチ
不得意	なし	アプローチ	アイアン	なし
尊敬するゴルファー	阪田哲男さん	阪田哲男さん、レティーフ・グーセン	阪田哲男さん	阪田哲男さん
ゴルフで一番大切なこと	諦めないこと	集中力	我慢	マナーと健康管理
今後の目標	—	楽しくプレーすること	日本アマ出場	年をとっても競技ゴルフを続ける

休日	毎週日曜日はゴルフ場	子供と遊ぶ	ゴルフ、サイクリング、トレッキング	ゴルフ
日頃の健康管理	特になが、よく歩く	寝ること	食事に気を遣う	特になし
ゴルフ以外の趣味	釣り	ドライブ	サイクリング、トレッキング、映画(洋画)、旅行	—
過去のスポーツ歴	野球	野球、水泳	バスケットボール	バスケットボール、10年間
トレーニングなどの運動	特にしない	水泳	ウォーキング、ストレッチ	—
酒	酒豪	付き合い程度	飲まない	少々
タバコ	たまに吸う	吸わない	吸わない	吸わない
好きな食べ物	魚、野菜	グレープフルーツ	果物、肉、魚、新鮮野菜	イタリアン
苦手な食べ物	特になし	梅干し	油っこいもの、フライ	—
関東倶楽部対抗、出場選手へひと言	アマチュアなのでそんなに力を入れないで、普段のゴルフを大切に。	一緒にゴルフを楽しみましょう。	結果を求めず、楽しく自分自身のゴルフをしましょう！	チームメイトと楽しくプレーしてください。

コースがまた戦
略的なモダン設計
である反面、敷地
内には土着信仰の
遺跡や縄文時代の



名前	柳澤信吾さん	吳山淳一さん	榎本剛之さん	水上晃男さん
年齢	45歳	67歳	38歳	43歳
血液型	O型	O型	A型	A型
ゴルフ歴	28年	29年	28年	26年
ゴルフを始めた動機	父の勧め	友人の勧め	父の影響	両親の影響
初ラウンドのスコア	88	105ぐらい	?	110
現在のラウンドの平均スコア	73	80ぐらい	75	73
ワンラウンドの平均バット数	?	32ぐらい	28	28
ドライバーの平均飛距離	260ヤード	235ヤード	250ヤード	270ヤード
年間のラウンド数	60回	10回	60回	100回
毎月の練習量	月に10回で1回に100球	月に12回で1回に200球	月に4回で1回に150球	月に4回で1回に50球
得意技	バット	ドライバー	バット	アプローチ
不得意	なし	アプローチ	アイアン	なし
尊敬するゴルファー	阪田哲男さん	阪田哲男さん、レティーフ・グーセン	阪田哲男さん	阪田哲男さん
ゴルフで一番大切なこと	諦めないこと	集中力	我慢	マナーと健康管理
今後の目標	—	楽しくプレーすること	日本アマ出場	年をとっても競技ゴルフを続ける

休日	毎週日曜日はゴルフ場	子供と遊ぶ	ゴルフ、サイクリング、トレッキング	ゴルフ
日頃の健康管理	特になが、よく歩く	寝ること	食事に気を遣う	特になし
ゴルフ以外の趣味	釣り	ドライブ	サイクリング、トレッキング、映画(洋画)、旅行	—
過去のスポーツ歴	野球	野球、水泳	バスケットボール	バスケットボール、10年間
トレーニングなどの運動	特にしない	水泳	ウォーキング、ストレッチ	—
酒	酒豪	付き合い程度	飲まない	少々
タバコ	たまに吸う	吸わない	吸わない	吸わない
好きな食べ物	魚、野菜	グレープフルーツ	果物、肉、魚、新鮮野菜	イタリアン
苦手な食べ物	特になし	梅干し	油っこいもの、フライ	—
関東倶楽部対抗、出場選手へひと言	アマチュアなのでそんなに力を入れないで、普段のゴルフを大切に。	一緒にゴルフを楽しみましょう。	結果を求めず、楽しく自分自身のゴルフをしましょう！	チームメイトと楽しくプレーしてください。

コースがまた戦
略的なモダン設計
である反面、敷地
内には土着信仰の
遺跡や縄文時代の



名前	柳澤信吾さん	吳山淳一さん	榎本剛之さん	水上晃男さん
年齢	45歳	67歳	38歳	43歳
血液型	O型	O型	A型	A型
ゴルフ歴	28年	29年	28年	26年
ゴルフを始めた動機	父の勧め	友人の勧め	父の影響	両親の影響
初ラウンドのスコア	88	105ぐらい	?	110
現在のラウンドの平均スコア	73	80ぐらい	75	73
ワンラウンドの平均バット数	?	32ぐらい	28	28
ドライバーの平均飛距離	260ヤード	235ヤード	250ヤード	270ヤード
年間のラウンド数	60回	10回	60回	100回
毎月の練習量	月に10回で1回に100球	月に12回で1回に200球	月に4回で1回に150球	月に4回で1回に50球
得意技	バット	ドライバー	バット	アプローチ
不得意	なし	アプローチ	アイアン	なし
尊敬するゴルファー	阪田哲男さん	阪田哲男さん、レティーフ・グーセン	阪田哲男さん	阪田哲男さん
ゴルフで一番大切なこと	諦めないこと	集中力	我慢	マナーと健康管理
今後の目標	—	楽しくプレーすること	日本アマ出場	年をとっても競技ゴルフを続ける

—	ゴルフ、ドライブ	ゴルフ	ゴルフ
—	ウォーキング	よく食べること	早寝早起き
—	食べ歩き	ギター演奏	音楽鑑賞、ドライブ
中高でバスケットボール	水泳、ボウリング(プロボウラー)	スキー	野球、バドミントン
—	水泳	自宅で筋トレ	筋トレ、ウォーキング
付き合い程度	付き合い程度	飲まない	飲まない
ヘビー	たまに吸う	吸わない	吸わない
肉、寿司	和食、焼き肉	寿司	ハンバーグ
特になし	酸っぱいもの	パクチー	セロリ
優勝のチャンスはすべてのチームにあります！お互いにベストを尽くして頑張りましょう！	年に一度の祭典、倶楽部の名誉にかけて闘いましょう！	チームプレーの素晴らしさと難しさを知り「フオア・ザ・チーム」の精神で、頑張りましょう。	スコアアップには楽しくプレーするのが一番だと思います。

新潟ブロック予選競技

平成22年5月28日(金) フォレストカントリー倶楽部 西・東コース
参加倶楽部数: 33 決勝進出倶楽部数: 4
Aクラス4名、Bクラス4名出場 / 各ベスト3名、計6名の合計スコア



1位 日本海カントリークラブ / 476



2位 下田城カントリー倶楽部 / 482



3位 柏崎黒姫カントリー倶楽部 / 484



4位 長岡カントリー倶楽部 / 485



地場産の素材をふんだんに使った朝食バイキング。オムレツは目の前で調理、でき立てが提供された。



駐車場に設置されたギャラリーテント。寒風の中、ギャラリーの声援が飛んだ。



マスター室前のスコア掲示板には、大勢の人だかり。



レストランとコンベン会場を使った表彰式会場は、椅子席で300名を収容。和やかな雰囲気で行われた新潟ブロック大会は幕を閉じた。



選手と応援団の熱気が
季節外れの寒気を吹き飛ばす。
越後路のバトルはサバイバルゲーム。



新潟 ブロック

フォレストカントリー倶楽部 西・東コース

終日の雨にもかかわらず 応援の観衆が大挙して来場

前夜からの雨が、大会当日も終日にわたり降り続ける中、競技委員会では特別ローカルルールを設定した。
気温以上に体感温度が寒く感じられ、選手の吐く息も白くなるほどの寒さ対策で、この時期では珍しく使い捨ての携帯カイロが飛ぶように売れた。

また、駐車場に設置した各倶楽部用のギャラリーテントも、屋外のためかインターバルで立ち寄る選手もまばらで、活気が見られなかった。

それでも応援ギャラリーが予想以上に来場されて、倶楽部進入路を急ぎよ駐車場スペースにするなど、人員を配置して対応した。ハウスレストランにも多数の応援ギャラリーが押し寄せて、選手の食事サービスにも影響を与えるほど。

総体的には雷雨による中断やトラブルもなく、運営スタッフおよび他倶楽部からの応援キヤデীর皆さんなど、開催にかかわったすべての方々に感謝いたします。(フォレストカントリー倶楽部 支配人 馬場敏郎)

後列左より久代信二、松本重光、梶原常生、平山克己、平山力三、前列左より吉岡和晃、湯浅良一、古泉勉、白根幸雄、高村勇競技委員長代理の各氏。

●天候/終日雨 気温/最高13度/最低9度
●湿度/85% 北風/2m/s
●競技設定 Aクラス(西)6599 P
72/Bクラス(東)6877 P 72

長野ブロック予選競技

平成22年5月27日(木) 豊科カントリー倶楽部
参加倶楽部数: 26 決勝進出倶楽部数: 4
Aクラス3名、Bクラス3名出場 / 全選手の合計スコア



1位 上田丸子グランヴィリオゴルフ倶楽部 / 460



2位 諏訪湖カントリークラブ / 467



3位 塩嶺カントリークラブ / 471



4位 松本カントリークラブ / 476

●天候 / 曇り時々雨 気圧 / 1003.8 hPa
気温 / 17.2度 湿度 / 55% 風向 / 北北西風
速 / 5.3 m/s 最大瞬間風速 / 8.4 m/s
●グリーン状態 速さ / 9.17 硬さ / コンパク
ション11
●競技用設定 6722ヤード パー72



優勝倶楽部、池野キャプテンによる乾杯の首領。



競技委員による
スタートコール。



最終ホールで選手のスコアを確認する応援団。



表彰式は着席で整然
と厳粛に。



長野ブロック

豊科カントリー倶楽部

風のトヨカンで信州の 強豪26倶楽部が熱戦を展開

朝は小雨がぱらつく中のスタートとなり、午後に向かうにつれて雨も上がり「風のトヨカン」と言われる、当倶楽部の名物の風が吹くようになりました。前日からの雨もあり、グリーンの状態もほどほどに止まるようになっていましたが、次第に条件も良くなり、本来のグリーンの速さと硬さを取り戻し、後半はスコアを乱す選手もいました。

部の一喜一憂する姿が印象的でした。今年度は、前年度優勝の上田丸子グランヴィリオゴルフ倶楽部が、460という素晴らしい合計スコアで、予選競技2連覇となりました。他倶楽部を寄せつけないそのチームワークは、当倶楽部も見習いたい部分であり、次年度こそは決勝への切符を手にしたと思います。競技開催にあたり、少しでも良いコース状態に仕上げる



豊科CC島孝一理事長。



宮坂久臣大会会長。



後列左より奥原、望月、藤澤、内山、大原の各選手。
前列左より山本キャプテン、中島、小林の各選手。



薫風爽やかに吹き抜けて
新緑の香りが
会場に届けられた。



山梨ブロック予選競技

平成22年5月20日(木) 都ゴルフ倶楽部
参加倶楽部数: 16 決勝進出倶楽部数: 2
Aクラス4名、Bクラス4名出場 各ベスト3名/計6名の合計スコア



1位 オリムピックカントリークラブ/470



2位 界仙峡カントリークラブ/471



競技運営に尽力された、都ゴルフ倶楽部の皆さんと代表選手諸君。



上がりました。
私たちスタッフ
にとっては、頑
張って準備した
ことが報われた

いました。キャディーにとっても、とてもいい勉強になりました。
キャプテン会議や指定練習日などの行事が、無事に過ぎて本番に近づいていきます。直前になっても天候不順で、コース整備はなかなか進みませんでした。OB杭、倶楽部旗、テント等の準備を順調に進めていても、やり残しがないかと気持ち落ち着きません。当日の天気予報が雨の予報だったのも、心配のひとつでした。そんな不安を抱えながら、本番を迎えました。予報に反して雨は、早朝に上がりました。

気がしましたが、雨用にグリーンの高いところに切られたカップと、雨上がりの湿度の高い天気が、選手を苦しめる結果となりました。
各倶楽部の応援団も選手を励まそうと、早朝から大挙して押し寄せます。倶楽部対抗独特の雰囲気、試合が盛り上がります。
結果は優勝倶楽部と9打差の中に7倶楽部がひしめく、稀に見る大混戦でした。大会終了後、スタッフの疲労感あふれる表情の中にも、満足感や達成感が滲み出ていて、とても感無量でした。
(都ゴルフ倶楽部
キャディマスター
大森崇弘)



山梨ブロック

都ゴルフ倶楽部

倶楽部の威信を懸けて140日間の準備 終了後の達成感は感無量……

上/Aクラス
ベストスコア
賞の岩波肇君
下/Bクラス
ベストスコア
賞の長澤裕君



まずキャディーに
開催の意義と概要
約140日です。

ここ数年、当倶楽部選手の応援のため、関東倶楽部対抗予選開催コースに足を運びました。当倶楽部で開催することを意識して、様子を見してきました。開催コースはとても綺麗に整備されているのはもちろん、選手や応援団への対応にも余念がありません。倶楽部対抗を開催し、成功することはとても大きなプレッシャーになりました。しかし倶楽部としてひと回り成長するには、こんなチャンスはめったにありません。開催までの準備は、年が明けた1月から始まりました。開催日に合せた日めくりカレンダーでカウントダウンをして、当日に向け気持ちを高めます。



風を読み
林を避け
火と燃える闘魂で
山梨を制するぞ！



「倶楽部対抗だけは、ティーアップする手が震える」(ある代表選手)

を説明し、協力を求めました。いつものお客様対応とは、違う部分があるからです。選手はそれぞれのゴルフスタイルやベースに強いこだわりがあり、通常のサービスだと過剰になる場合があります。さらに進行を早めるためのいつもの動作も、選手の集中を妨げることになりかねません。立ち位置、カート停止位置の再確認作業をしました。
コースの方は春先の天候不順で、かなりの苦戦を強いられました。4月中旬に雪が降るなど、気温が上がらず芝のコンディションはいまひとつです。
グリーンキーパーを先頭にコース管理、キャディー、スタッフが無事にコース整備、美化に努めました。
4月になると連日、選手が練習に訪れます。参加倶楽部の中には選手を絞りきつていない倶楽部があり、練習ラウンドから試合さながらの熱が入って

群馬第1ブロック予選競技

平成22年5月18日(火) 伊香保カントリークラブ
参加倶楽部数15 決勝進出倶楽部数2
Aクラス4名、Bクラス4名出場 各ベスト3名、計6名の合計スコア



1位 太田双葉カントリークラブ / 466



2位 伊香保カントリークラブ / 467



榛名、赤城の名峰の下、
有数の温泉保養地に
漲る緊張感。



群馬 第1ブロック

伊香保カントリークラブ 競技開催の実績を活かし 会員参加でスムーズな運営

伊香保カントリークラブでは昨年、日本プロゴルフ『グランド・ゴールドシニア選手権』と『関東シニア選手権決勝競技』を開催いたしました。

今回、関東倶楽部対抗群馬第1ブロック予選競技が5月18日に開催され、グリーンの硬さと速さをベストに近い状態にでき、事前の準備等もスムーズにできました。また、会員の皆様や運営委員をはじめ、様々な方に業務をお手伝いいただきまして、誠にありがとうございました。

どの倶楽部においても同様でしょうが、この大会は個々のプレッシャーを感じながら良い成績を残すようで、指定練習日を含む練習風景は大変に熱を帯び、本番当日はホールアウトした選手が記入しているスコアを覗き込み、大きな歓声やため息が聞かれました。

地の利を活かし、我が倶楽部代表選手は決勝へ進出でき、さらにAクラス、Bクラスのベストスコア受賞選手が誕生いたしました。

当倶楽部は昨年8月で開場50周年を



開場50年の歴史がコースに風格を与える。

迎え、群馬県内では一番古いコースとして、各倶楽部の皆様と選手の皆様にアピールできましたことは、理事長はじめ会員一同大変喜んでおります。

競技委員の皆様、関係者の皆様、そして各倶楽部の皆様のご協力により、本大会を無事終了できましたことを心より感謝申し上げます。(伊香保カントリークラブ取締役支配人 笹淵征三郎)



表彰式会場は社交サロンの和やかさ。



右から伊香保CCの斎藤進コンペティション・ルール委員長、千明三右衛門理事長、KGA相澤伸幸常務理事。



前列左より片岡、千明理事長、笹淵、中島、清水の各位。後列左より榎田、菊池、丸岡、藤生、本山、高橋、堀、善養寺、岩田の各位。

群馬第2ブロック予選競技

平成22年5月20日(木) レーサム ゴルフ&スパ リゾート
参加倶楽部数: 16 決勝進出倶楽部数: 2
Aクラス4名、Bクラス4名出場 / 各ベスト3名、計6名の合計スコア



1位 ツインレイクスカントリー倶楽部 / 459



2位 赤城国際カントリークラブ / 463



倶楽部新生のパワーが
コース整備にも投入され、
見よ！この万全の仕上がりを。



群馬 第2ブロック

レーサム ゴルフ&スパリゾート

ONE FOR ALL 練習から高まる各チームの気合い

当コースは平成16年より、関東倶楽部対抗に参加させていただいております。当初、群馬県は1会場のみの競技でしたが、参加コースが増加したことにより、昨年(平成21年)より2会場での競技となり、本年に当コースを開催コースの一つとして選んでいただき、開催の運びとなりました。

コースコンディションは、開催当日をベストの状態にするために、グリーンやフェアウェイ等々、前々から準備してきました。

やはり倶楽部の対抗戦ですので、良い状態でプレーをしていただくよう努めました。

多くのチームに練習ラウンドに来場していただきましたが、練習ラウンドからユニフォームを揃えてくるチームや、プレー前とプレー後にミーティングを行うチームなど、チームの結束力の高さを感じられる倶楽部もあり、チーム戦ならではの面白さを感じることができました。

天気予報が悪かったため、非常に心配しましたが、開催日当日は雨も降らず開催することができて、ホッとしております。

また、当日は大変多くのギャラリーの方にご来場いただき、ありがとうございました。

残念ながら開催コースとして、決勝大会に進むことはできませんでしたが、また来年に向けて頑張っていきたいと思っております。(レーサム ゴルフ&スパリゾート支配人 佐藤始)

●天候 / 曇り 最高気温 / 23.4度
風速 / 1.0m/s



スコアカードの提出。競技委員も真剣。



成績表を見上げて悲喜こもごも。



9番をホールアウト、果して結果は……。



パッティンググリーンは情報交換の場。



ギャラリーもまた戦況分析に奔走。



表彰式は和やかに進行。



レーサム競技委員長・羽切吉一(はぎりよしかず)氏。



レーサム ゴルフ&スパ リゾートの代表選手および役員の皆さん。

栃木第1ブロック予選競技

平成22年5月20日(木) 東ノ宮カントリークラブ さつき・あおいコース
参加倶楽部数: 18 決勝進出倶楽部数: 3
Aクラス4名、Bクラス4名出場 / 各ベスト3名、計6名の合計スコア



1位 那須小川ゴルフクラブ / 473



2位 鹿沼カントリー倶楽部 / 473



3位 宇都宮カントリークラブ / 478



あおいコース1番ホールのスタート。



表彰式からパーティーに移ると、会場のあちこちに歓談の輪。



大会会長のKGA篠崎常務理事



書き込まれるスコアに一喜一憂。



新緑鮮やかな林間で
ハイレベルな接戦が展開。
この1打に全員の願いを込めて……。



早朝から代表選手が続々と来場。



出場倶楽部の旗がほとんどなびかない無風のコンディション。

栃木 第1ブロック

東ノ宮カントリークラブ さつき・あおいコース
予選突破を最大の目標に
ブロック競技優勝も願望



東ノ宮CCCの選手および役員の皆さん。

平成22年度関東倶楽部対抗栃木第1ブロック予選競技が、東ノ宮カントリークラブで開催されました。心配された当日の天候は、小雨が降り続いたもののほぼ無風・気温20度で、各倶楽部の代表選手の多くが、傘なしでプレーされていました。

4月に入ると各倶楽部が練習ラウンドに訪れ、当コースの特長であるバン

カーや池の攻略に、各自戦略を練っていたようです。ただし、グリーンは雨の影響で練習日より遅めとなり、各選手はパットで苦戦されていました。結果は那須小川GCCと鹿沼CCCが同スコアで、ベストスコア賞もA、Bクラスを両チームで分け合うという大接戦でした。

予定どおり競技を終え、表彰式は交歓の場として大盛況でした。その席上、コースメンテナンや競技運営などを各倶楽部の方々にお褒めいただき、胸の熱くなる思いを味わいました。この貴重な経験を基に、またKGA主催競技の開催コースに選定されますことを願っております。

関係各位のご指導ご協力を、心より感謝申し上げます。(東ノ宮カントリークラブ支配人 山田明伸)

●グリーンコンディション
速の2・6が(8・6)硬さやや硬い
距離/A、Bクラスとも6590ヤード
パー72

栃木第2ブロック予選競技

平成22年5月20日(木) 風月カントリー倶楽部 北・中コース
参加倶楽部数: 17 決勝進出倶楽部数: 3
Aクラス4名、Bクラス4名出場 / 各ベスト3名、計6名の合計スコア



1位 ロイヤルカントリークラブ / 456



2位 矢板カントリークラブ / 460



3位 ゴールデンレイクスカントリークラブ / 461



表彰式は健闘を賀えあって。



スコアボード前は応援団の人垣。



出場倶楽部の旗が風にひるがえる。



北コース1番ホール。



結果は最終組のホールアウトへ。
スコアボードの前は
受験生のような心配顔と安堵の笑顔。

大会当日は前日からの雨が降り続き、小雨の中、競技をスタートした。スタート前はバンカーへの流水が懸念されたが、幸いにも小雨で支障なく、関係者をほととさせた。グリーンも雨の影響はほとんどなく、設定どおりの状態で当日を迎えられた。

今大会で特筆すべきは、競技委員長の絶妙な距離設定の加減で、各倶楽部の実力を引き出す要因のひとつとなった。近年にない高スコアが続出し、特に上位7チームは混戦で、最終組のホールアウトまで結果がわからず、エキサイティングな競技会となった。

会場には300人を超える各倶楽部関係者が応援に訪れ、選手たちの卓越した技量に大声援を送った。昼食タイムは対抗戦ならではの風景で、プレーを終えた選手を囲み、持ち寄りの手料理でもてなし、後半に送り出していた。大会のスケジュールも大方の予想どおり進行し、表彰式を終了したのは5時15分頃で、クラブハウス解散から12時間後だった。

この貴重な経験を今後の運営に生かし、充実した倶楽部ライフの提供に務めたいと思います。さらに近年は、ゴルフアーの競技会参加志向も一段と高



風月CCの代表選手と運営委員。



揃いのブルゾンで大会運営のスタッフ。



大会運営に協力した風月CC会員の皆さん。



栃木 第2ブロック

風月カントリー倶楽部 北・中コース

12時間の競技運営が 貴重な経験として今後に

まる様相にて、今後も各競技会の開催コースとしてご用命をいただけるよう、努めてまいる所存です。(風月カントリー倶楽部支配人 大前徹)

栃木第3ブロック予選競技

平成22年5月18日(火) 鹿沼72カントリークラブ 筑波コース
参加倶楽部数:17 決勝進出倶楽部数:3
Aクラス4名、Bクラス4名出場 各ベスト3名、計6名の合計スコア



1位 那須チサンカントリークラブ / 468



2位 芳賀カントリークラブ / 470



3位 草月ゴルフ倶楽部佐野コース / 474



団体戦ならではの華やぎ。
緊張の中にも
ギャラリートントは祭りの賑わい。



栃木 第3ブロック

鹿沼72カントリークラブ 筑波コース

快晴微風の空の下

予選突破を巡って熾烈な争い

参加17チーム136選手の参加で、船越茂人競技委員長のもと開催されました。当日は朝より天候に恵まれ、絶好のゴルフ日和でした。

グリーンは11^時と、速いグリーンに仕上がっておりまして。ただ、当日の朝も転圧したことにより、特に筑波コース16番ホールにおいて、選手が苦戦したようでした。(バー5で平均5・73ストローク)



大会会長をはじめ役員および各支配人、関東ゴルフ連盟の皆様方にご指導を頂き、誠に有り難うございました。競技慣れをしていない当倶楽部にとって、貴重な経験をさせていただいたことに感謝申し上げます。

大会を開催させて頂いたことにより、コース課

1位は平均78ストロークと手堅くまとめた、那須チサンカントリークラブが予選トップで通過。2位は2打差でBクラスが健闘した芳賀カントリークラブが入り、3位にはAクラスベストスコア賞の一人である、北裏君を擁する草月ゴルフ倶楽部佐野コースがすべり込みました。

残念ながら同スコアの474ストロークのディアレイクカントリー倶楽部は、Bクラス4人目のスコアが84と92により、惜しくも4位となり決勝進出

●天候 / 晴れ 最高気温 / 26度 風は爽やかな風で約3〜4m / S
●筑波コース / 654.43pt



鹿沼72カントリークラブの皆さん。



茨城第1ブロック予選競技

平成22年5月17日(月) 富士カントリー笠間倶楽部 東・南コース
参加倶楽部数23 決勝進出倶楽部数3
Aクラス3名、Bクラス3名出場 / 全選手の合計スコア



1位 茨城バシフィックカントリー倶楽部 / 477



2位 スプリングヒルズゴルフクラブ / 483



3位 富士カントリー笠間倶楽部 / 483

ベストスコア賞。右上からAクラスの
赤津卓男君、山本五郎君。
左上からBクラスの渡辺幹根君、
毛利史郎君、沼田雅彦君。



開催倶楽部を代表して、富士カントリー笠間倶楽部の竹野競技委員長。



各倶楽部のテントには、お昼のご馳走がいっぱい。



優勝の茨城バシフィックチームに、KGA安蔵理事よりペナントが授与。



夜明けの陽光が射す頃、
すでに競技設定は始まっている。
選手の妙技がフルに発揮できるように。



茨城 第1ブロック

平成22年5月17日、関東倶楽部対抗
茨城第1ブロック予選競技が当倶楽部
において開催されました。
以前、当倶楽部で開催されたのは昭和
59年、まだ茨城県予選競技が1ブ
ロック制で行われていた頃
のことです。当時のことを
覚えている者はほとんど在
籍しておらず、予選会場に
決定してからは、代表選手
の応援を兼ねて毎年開催
コースに赴き試行錯誤、当
倶楽部で毎年行われている
県の連盟競技開催の経験
を元に準備し、大会を迎えることが
できました。

無事終了できましたことは、役員関
係者の皆様、出場倶楽部の選手、応援
団の皆様の協力があったのと思
います。この場をもつて皆様に御礼申
上げます。(富士カントリー笠間倶
楽部副支配人 大呂文彦)



無事終えることができました。
7時30分に1組目がスタート。順調
に大会は進行していきましました。各選手
がラウンドを終了し、スコアボードに
スコアが貼りだされるたびに、選手、
各倶楽部の応援の皆様の
一喜一憂のどよめき。各
倶楽部応援席では歓喜の
声、慰労をねぎらう声
が響いていました。
表彰式の席上では大会
役員の皆様をはじめ、参
加倶楽部の選手の皆様か
ら多くの賞賛の声をい
ただくことができました。当倶楽部は
マッチングスコアカード方式により第3
位に入賞し、5年連続の決勝進出を辛
くも勝ち取ることができました。

富士カントリー笠間倶楽部 東・南コース
連続決勝進出の栄誉に
恥じない大会運営を……

茨城第2ブロック予選競技

平成22年5月18日(火) 扶桑カントリー倶楽部 西・東コース
参加倶楽部数: 23 決勝進出倶楽部数: 3
Aクラス3名、Bクラス3名出場 / 全選手の合計スコア



1位 霞台カントリークラブ / 457



2位 桜ゴルフ倶楽部 / 464



3位 ニッソーカントリークラブ / 467



開催倶楽部を代表して広瀬光雄
扶桑CC理事長の挨拶。



優勝の霞台CCにKGA塚原常務理事より
ペナントを授与。



手作りの掲示板にスコアを記入するスタッフ。



扶桑カントリー倶楽部

茨城
第2ブロック

扶桑カントリー倶楽部 西・東コース

ボランティアが支えた円滑運営 倶楽部の一体感が扶桑CCの誇り

扶桑カントリー倶楽部では17年ぶりのKGA公式戦の開催でしたが、総じてコース整備や競技運営に合格点をいただいて、無事終了しました。

前回の競技運営経験者が一人という不安な中で、早々と1年近く前の昨年8月に準備委員会を発足させ、各委員会が役割りを分担して準備を進めました。

当倶楽部は通常、乗用カートを使用していて、キャディーなしでのラウンドがほとんどのため、デイボット跡への目土が課題になっていました。数年前から、競技委員や研修会員が率先して目土を始め、今では自主的に目土をするメンバーが多く、他倶楽部役員から「うらやましい」との言葉が出るほど高く評価されています。

中には、プレーヤーの数だけの目土袋を用意するよう提案されるメンバーもあり、こうした地道な努力の積み重ねが「コース整備良好」との評に結びついたと思われます。

自分たちが整備したコースでの、競技を円滑に進めたいとの思いは大会当日に充分発揮され、総勢50人を超えるボランティアが運営に参画しました。

競技委員会はフォアキャディーを13ヶ所に26人も配置するきめ細かい配慮をし、コース委員会では、当日使用しないコースに設けた練習場のボール拾いに汗を流し、フェローシップ委員会では、



扶桑CCの代表選手と役員の皆さん。

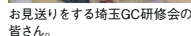


快晴のコースは芝生がギャラリー席。



平成9年度関東倶楽部対抗決勝で、優勝したときの記念碑。

平成22年5月18日(火) 埼玉ゴルフクラブ
参加倶楽部数: 19 決勝進出倶楽部数: 3
Aクラス4名、Bクラス4名出場/各ベスト3名、計6名の合計スコア



右から伊藤埼玉GC理事長、田中競技委員長、KGA高橋副理事長、斉藤埼玉GC社長、池内埼玉GC社長付の皆さん。



クラブハウスまでピストン輸送。走行距離延べ250余キロ走破。ギャラリー推定400人余は想定外だった。

終盤の最終ホールに応援者が集中し、一時は200人を超え、ホールアウトにガッツポーズの選手に大声援。倶楽部旗のはためく成績掲示板の下に、応援者がぞくぞく集中。最終結果発表に、表彰式会場へと選手たちは移動を始めた。

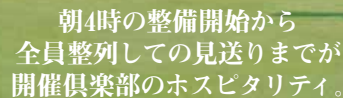
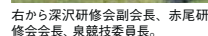
西に夕日が陰って山並みは黒ずんで、好天の一日も終息にむかった。田中委員長の成績発表に、予期していた入賞倶楽部の面々は諸手を上げて喜びを表現していた。高橋大会会長の賞杯授与、ご講評をいただき、式は順調に推移。

最後に来年の開催倶楽部、森林公園ゴルフ倶楽部の山下支配人に「ご挨拶をい

ただき、表彰式は終了した。

開催倶楽部研修会の会員は、他倶楽部に先駆けてロビー出口に整列！お互いの健闘を讃えあい、来年の再会を誓い、入賞倶楽部には我々の代表として、決勝戦でがんばっていただくよう、激励の握手でお見送りをした。

（埼玉ゴルフクラブ支配人 里川忠由）



いま時の日の出は早い。4 時過ぎにコース管理課は作業を開始し、指示されたグリーンの刈り高で完了。KGA 競技委員の点検を待つばかり。

朝焼けが眩しい中、早くも田中委員長、松本副委員長は競技委員会室に入り、各委員の到着を待った。予定時刻よりかなり早く皆到着し、委員長より各委員に役割りの指示があり、余裕を

持ってそれぞれの部署へ出発。

前日、松本副委員長の入念なコース点検、変更指導をいただいていたので、今朝のコースチェックによる新たな変更はなかった。

平成22年度関東倶楽部対抗埼玉第1ブロック予選競技はスタートした。この瞬間のため、1年前からコースメンテナンス構想を協議、持てる技術を生

埼玉ゴルフクラブ

予想以上のギヤラリーに沸き
大会の雰囲気は最高潮に

揮できる環境を整えることを第一に、皆の目標は決まった。フェアウェイも順調な仕上がりに推移していた。

11月下旬、イノシシ被害が発生！

徹夜の監視を嘲笑うかのように被害は拡大！ 大晦日から正月三が日をかけて、コース周囲をメッシュ囲いする作業の結果、被害は止まった。しかし、12番ホールのフェアウェイは修復不可能な状態になり、競技当日も修理地の表示は消えなかった。

スターティングホール。競技委員に

とても好評だった。応援者も見学馴れしているのか、アドレス時には一瞬の静寂で、マナーも良く守られてひと安心。コース形状から応援者の同伴を制限せざるを得なかったことは、開催俱楽部として申し訳なく思った。それでも選手がティーインググラウンドからコースへ進む時は、その後から「がんばってー!」の黄色い声の応援合唱。拍手と声援で一瞬緊張が解けた。

拍手と声援で一瞬緊張が解けた。

今日のスティンブメーターでの計測は107、刈り高は3・8ミ、コンパクション11で、当倶楽部の通常営業とさして変わらぬホールロケーションでは、アンダー続出か？と内心期待とメンツと

ブライドが交錯。ハーフを終えた選手を、笑顔で出迎えるギャラリー。笑顔でこたえる選手、悲喜こもももで「まだ半分！」

「だ半分！」

ギヤラリーの中に、連盟の竹田理事
長のお顔が！ 所属倶楽部の応援にい
らっしゃったとのこと、決勝進出おめで
とうございます。

さて、予想以上のギャラリープラザ利用
者で、お昼頃は各倶楽部のスベ
スは満席。家族連れの応援団は芝生に
陣取って昼食。学校はお休み？ 用意
された飲物、焼きそば、ローストビーフ
等売店の品はすべて売り切れの状態。
応援者専用駐車場からのバス2台は



埼玉GC研修会(選手、応援の皆さん、ボランティアスタッフ)。

埼玉第2ブロック予選競技

平成22年5月17日(月) 石坂ゴルフ倶楽部
参加倶楽部数: 19 決勝進出倶楽部数: 3
Aクラス4名、Bクラス4名出場 各ベスト3名、計6名の合計スコア



1位 嵐山カントリークラブ / 476



2位 石坂ゴルフ倶楽部 / 477



3位 寄居カントリークラブ / 477



乾杯の音頭をとる石坂GCの新田競技委員長。



KGA高橋副理事長よりベナントを受け取る、嵐山CCの岡田氏(KGA理事)。

クラブハウスロビーでにぎわう各倶楽部の応援席。



鮮やかな赤のユニフォームで応援に駆けつけた女子倶楽部対抗石坂GCチーム。



暑さの中、笑顔で動くフォアキャディー。



後列左より岡選手、市井選手、藤澤選手、嶋選手、西村選手、川和田選手、吉田選手、前列左より江川選手、新田監督、三木理事長、水野谷キャプテン、吉本選手。

当日のグリーンは速さ10¹、硬さ16の設定となりました。本来は硬さ12を予定していましたが、気温差で乾きが早く、我々の予想以上に硬いグリーンとなり、選手はグリーン攻略にかなり苦労されたかもしれません。

競技は1位と2位が1打差で、かつ2位と3位はタイスコア。しかも3位と4位も1打差という大接戦でした。我が石坂GCも、誰かが1打多ければ4位というギリギリの勝負に、改めてゴルフの1打の大切さを痛感したゲームとなりました。

平成22年5月17日(月)、埼玉第2ブロック予選競技、当日の天候は快晴。気温は30度近い暑さでしたが、時折り吹く風が夏の避暑地を思わせるような爽やかな1日でした。

競技開催に向けコース管理では、皆様に美しいコースをご覧いただけるよう、数ヶ月前よりコース内の樹木の剪

定をはじめ、林帯の下刈りや間引きを行って参りました。また、できる限り落ち葉や枯れ枝の清掃に努め、選手が気持ちよくプレーができることに配慮しました。ギャラリーより「きれいなコースですね」との声を聞き、大変嬉しく思います。

「きれいなコースですね」
何気ない感想のひとつは
数ヶ月にわたる努力への賛辞。



埼玉 第2ブロック

石坂ゴルフ倶楽部

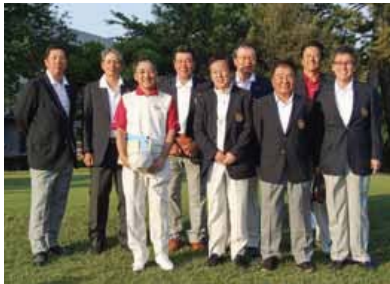
高速グリーンの攻略は至難
上位4倶楽部が2打差の大混戦

千葉第1ブロック予選競技

平成22年5月17日(月) 我孫子ゴルフ倶楽部
参加倶楽部数: 21 決勝進出倶楽部数: 3
Aクラス4名、Bクラス4名出場 / 各ベスト3名、計6名の合計スコア



1位 東千葉カントリー倶楽部 / 461



2位 我孫子ゴルフ倶楽部 / 466



3位 鷹之台カントリー倶楽部 / 468



富田KGA副理事長より優勝の表彰。



我孫子GC役員の方々。



KGA創設倶楽部の一員として、
「最高の整備を」が合言葉。
予選突破も全会員の悲願。



KGA富田副理事長も応援に。



千葉 第1ブロック

我孫子ゴルフ倶楽部

競技会の成功と 予選突破で二重の喜び

我孫子ゴルフ倶楽部では4年前の関東倶楽部対抗予選に続き、今年も関東倶楽部対抗千葉第1ブロック予選競技を開催させていただきました。千葉地区予選は出場倶楽部が多いため、例年どおりの3地区に分かれての開催で、我孫子GCは第1ブロック開催となり、21チームが参加致しました。

当日は五月晴れの好天に恵まれ、出場倶楽部より選出された選手の熱戦が繰り広げられ、大いに大会が盛り上がりしました。早朝より各倶楽部選手はもとより、応援の家族やゴルフ場従業員が多数来場され、各倶楽部とも親睦を深めることができました。

倶楽部施設として、駐車場不足の課題がありました。周辺の土地を借用して臨時駐車場として対応しました。

競技終了後の懇親会では、出場選手よりコースの仕上がり状態をお褒め頂き、開催倶楽部としてはやりがいのある大会となりました。

また、今回は開催倶楽部の地の利を活かし、2位で予選を通過し二重の喜

びとなり、参加選手はもとより倶楽部会員の喜びは一人でした。最後に開催についてご尽力頂いた方々に御礼を申し上げます。



我孫子GC代表選手の皆さん。

千葉第2ブロック予選競技

平成22年5月17日(月) 京葉カントリー倶楽部
参加倶楽部数: 21 決勝進出倶楽部数: 3
Aクラス4名、Bクラス4名出場 各ベスト3名、計6名の合計スコア



1位 新千葉カントリー倶楽部 / 467



2位 総武カントリークラブ / 471



3位 レインボ-ヒルズカントリークラブ豊里コース / 487

京葉CCの代表選手の皆さん。



千葉 第2ブロック

京葉カントリー倶楽部

知名度やステータスの向上は
倶楽部にとって大きなメリット

公式競技への会場提供は、負担も大きいですが、アマチュアゴルフ界に対する倶楽部としての義務の一つであり、また知名度やステータスが大きく向上したことは、倶楽部にとって大きなメリットだったと思われます。

表彰式の席上で、当倶楽部のコースと大会運営について、多くの選手・倶楽部の方より賞賛の声をいただき、ありがとうございます。ただ残念だった

京葉カントリー倶楽部では、平成7年5月に関東倶楽部対抗予選が開催されました。当時を経験した社員は数名しか残っていませんが、当初はなにをどう進めてよいのか苦慮しましたが、昨年まで5年間開催した『クリスタルガイザーレディス・ナメント』の開催経験が役に立ち、比較的スムーズに事前の準備をすることができました。

各スタッフが分担の役割に責任を持ち、積極的に取り組んでくれた成果だと思っています。また会員の皆様も運営委員をはじめ、様々な業務をお手伝いいただき、本当に感謝しております。

のは、京葉カントリー倶楽部チームの成績が芳しくなかったことだけです。(京葉カントリー倶楽部業務課長・副支配人 有江 豊)

●天候 / 晴れ ●グリーンコンディション
高(3.3m) / (クロスカット) スピートステイ
ン / メーター使用 / 11.2m / コンバクション 12
(ベネトメーター使用)
全長639m / パー72 ティークラウンド
刈り高 / 10cm / F W / 刈り高 / 12cm / ラフ /
刈り高50cm



京葉CC瀧波理事長。



京葉CC篠原競技委員長。



KGA渡邊常務理事。

千葉第3ブロック予選競技

平成22年5月21日(金) ロイヤルスターゴルフクラブ アウト・インコース
参加倶楽部数: 22 決勝進出倶楽部数: 3
Aクラス4名、Bクラス4名出場 各ベスト3名、計6名の合計スコア



1位 袖ヶ浦カンツリークラブ / 442



2位 習志野カントリークラブ / 445



3位 ロイヤルスターゴルフクラブ / 455

上があったことを確信する。
太陽が目につくにつれて、
頃、9ホールを終えた選手達がテントに戻って来て、大会用スコアボードにスコアが掲載され始める。自倶楽部と他倶楽部とのスコアを比較すると、3番目の椅子を狙える位置にいることがわかる。開催コースとして、ぜひ本戦の霞ヶ関カンツリー倶楽部に出場したい。自然と応援団の応援に力が入る。
バックナイン、Bクラス選手がトータル1オーバーでフィニッシュ。遅い時間に出たBクラスの残り2名の応援に、ホールアウトしたキャディー達もかけつける。1人目はバーディーフィニッシュにより2



オーバー、最後の1人は8番でロストをしながら、9番のナイスバーセーブにより同じく2オーバー。Bクラスの3選手スコアは221。Aクラスも3選手が70台で上がり234。トータル455は袖ヶ浦、習志野に続き3位で決勝進出を果たす。
多くの支配人や、練習ラウンドで顔なじみになった他倶楽部選手に祝福を受け、少しだけ肩の力が抜ける。坂崎競技委員長を初めとしたKGA競技委員の方々に、心より感謝をしながら、2年越しの本大会を無事終了することができた。(ロイヤルスターゴルフクラブ 支配人 森下徹也)

●天候 晴れ 気温 / 30度
●グリーン状態 ベントグリーン 平均600ml 刈り高3.5cm
●ダブルカット ローラー かけ グリーンスピード / 10.2



今回の千葉第3ブロックには袖ヶ浦、習志野の本戦出場常連チームがエントリーし、強豪の鶴舞、富里、開場50周年を機に名称変更して大会

に進める。
満を持した選手達が、引き締まった表情で続々と入場する。7時21分、KGA競技委員による選手紹介の後、アウトとインの1組目がティーオフをする。競技前半、グリーン上で集中する選手にボールを渡す、若いキャディーの手が震えているのを目の当たりにし、本大会を自コースで開催することにより、コース課員、キャディーの一段の意識向



千葉 第3ブロック

ロイヤルスターゴルフクラブ アウトインコース

選手各位の壮烈なファイトにキャディーの手も震えていた

2年前に今年の開催コース依頼を受け、4月1日に佐原CCが初の練習ラウンドに訪れてから5月19日まで、指定練習を入ると235組・約900名の、他倶楽部の選手が練習ラウンドに登場した。

関東倶楽部対抗千葉第3ブロック予選の当日が来た。朝4時にはコースマンも勢ぞろいし、コース整備に入り出場倶楽部を待つ。少し乾き始めたコースに前日恵の雨が降り、昇り始めた太陽に新緑が光る。前日のコースチェックから大会当日は、早朝よりKGA競技委員が手際良く大会運営のチェックを進める。



に臨む鹿野山、初出場にして予選突破を狙うコスモクラシック等、どの倶楽部も決勝出場の3つの枠を狙い、虎視眈々としている。



東京ブロック予選競技

平成22年5月18日(火) 東京国際ゴルフ倶楽部
参加倶楽部数: 14 決勝進出倶楽部数: 2
Aクラス4名、Bクラス4名出場 / 各ベスト3名、計6名の合計スコア



1位 東京五日市カントリ倶楽部 / 482



2位 GMG八王子ゴルフ場 / 489



1番スタート後方はギャラリーの渦。



練習グリーン横にギャラリープラザを設置。



スコアボードは2階ベランダに。



東京国際GCの代表選手と応援の皆さん。



多摩ニュータウンの
隣りにある緑のオアシスで
東京代表の2席を巡って……。



東京 ブロック

東京国際ゴルフ倶楽部

随所に親睦の輪が広がり
真剣な中にも祭典の楽しさ

晴天、気温27度、初夏のコンディションの中、東京ブロック予選競技が当倶楽部において開催されました。

8時にスタートし、午後からは風が強くなり、各選手は苦労されたようです。スコアボードに次々と入れられる成績に、各倶楽部の応援の眼は食い入るようで、他倶楽部との差を計算し、がつかりたりホッとしたりする様子は微笑ましい限りです。



呉越同舟。期待を胸に9番ホールを走る。

この日に合せてコース整備に力を入れ、特にインコース6ホールのカート道路の改修工事は、4月下旬にようやく完了しました。できる限り良い状態で当日を迎えるため、コースメンテナンスに注意し、特にグリーンの硬さと速さを、ベストに近い状態にするために気を配りました。

無事競技は終了し、表彰式は歓声と拍手のうちに、佐藤敏明大会会長のご挨拶で始まりました。

年に1回、東京地区の倶楽部が集まる大会で、代表選手並びに関係者にとっても、いつもの競技とはまったく違う気持ちになるようで、特に選手にとっては倶楽部代表として責任を感じ、プレッシャーが重くのしかかります。

競技委員の皆様、関係者の皆様、各倶楽部の皆様、ご協力、ありがとうございます。(東京国際ゴルフ倶楽部 マネージャー 大谷 庫三)

神奈川ブロック予選競技

平成22年5月17日(月) 箱根カントリー倶楽部
参加倶楽部数: 25 決勝進出倶楽部数: 4
Aクラス3名、Bクラス3名出場 / 全選手の合計スコア



1位 横浜カントリークラブ / 456



2位 大厚木カントリークラブ / 458



3位 相模原ゴルフクラブ / 461



4位 清川カントリークラブ / 465



戦いすんで日が落ちて、
霊峰・富士は
ダイヤモンドの輝き！



Aクラスベストスコア賞の
石井孝一君(大森野)。



Bクラスベストスコア賞の
光山富夫君(横浜)。



高原の陽射しに日傘は必需品。



箱根CCの代表選手と応援の皆さん。



コース内観戦で応援も盛り上がる。

●天候・快晴
●競技設定 グリーンの速さ / 10・8
9・5 6・7 2・1 パー72
硬さ

- 1 成績発表
 - 2 賞品授与
 - 3 関東ゴルフ連盟代表挨拶
 - 4 開催倶楽部代表挨拶
 - 5 乾杯
 - 6 優勝倶楽部代表挨拶
 - 7 次回開催倶楽部挨拶
 - 18時20分頃散会
- (箱根カントリー倶楽部支配人 武藤 訓弘)



神奈川 ブロック

箱根カントリー倶楽部

天下の険、快晴の箱根CCで 神奈川代表を巡る攻防戦

競技当日は6時に開場し、スタート時間は8時でした。朝から快晴に恵まれ、倶楽部対抗出場25倶楽部の選手と応援団がスタート時間に合わせて集合。選手は練習場で調整し、8時より順次スタート。天候に恵まれた絶好のコンディションの中、各倶楽部代表選手

の熱戦が繰り広げられました。また今回は応援団もコースに入ることができ、応援にも熱が入り盛り上がり、順調に競技も進み、何事もなく無事、17時05分頃終了いたしました。17時30分頃より2階食堂にて、表彰式を以下の通り開催。

高速グリーンの読みが成否のカギ。

静岡ブロック予選競技

平成22年5月20日(木) 富士カントリークラブ
参加倶楽部数: 21 決勝進出倶楽部数: 3
Aクラス3名、Bクラス3名出場 / 全選手の合計スコア



1位 富士宮ゴルフクラブ / 442



2位 富士小山ゴルフクラブ / 464



3位 富士箱根カントリークラブ / 469



成績表の設置場所は、当日の天気予測で決定。

赤星四郎設計の傑作コースは
富嶽百景を額縁に取り込んで、選手を魅了する。



静岡 ブロック

富士カントリークラブ

円滑な運営にはスタッフの 隠れた気配りと工夫がある

当日の朝は昨日来の小雨が
ばらつき、グリーンは少し重い
感じです。気温17度、弱い風の吹く中
で競技が開始されました。

コース設定としては関東ゴルフ連盟
のご指導のもと、鋭意努力してまいり
ました結果、十分ではありませんが、
まあまあコンディションで選手の皆さ
んにプレーしていただけたものと思
います。

競技前半は10番ホールが前の組の
ホールアウトを待つのスタートとな
り、インコースが遅れ気味の進行とな
りました。途中で次第に天候も回復して、
特にトラブルもなく、最終的にはアウ
トスタート組が遅れ気味でホールアウト
しました。全般的には円滑な進行状況
であったと
思います。

当倶楽部
での開催を
お受けする
と思います。

実際に心配したのは、駐車場とレス
トラン、それに応援者の居場所でした。
駐車場の能力は約150台です。選
手の分は大丈夫としても、応援の方
の分が足りません。そこで隣接する御殿
場プレミアムアウトレットへお願いし、
駐車場を確保しました。応援の方はシャ
トルバスによる送迎でしたが、ご不便
をおかけしたことを思います。

レストランに関しては、各倶楽部ご
との席をどうするかを検討しました。
さらにウェイターの増援により、案外ス
ムーズな運営ができたのではないかと
思っています。



思っています。

そして応援者の居場所については、
雨模様を心配しましたが、局地予報で
は朝のうちは雨が残るが、あとは好転
するとのことと、少し安心しました。
そうした関係で成績表の位置につい
ては、多くの人が見やすいことを優先し
て決まさせていただきました。

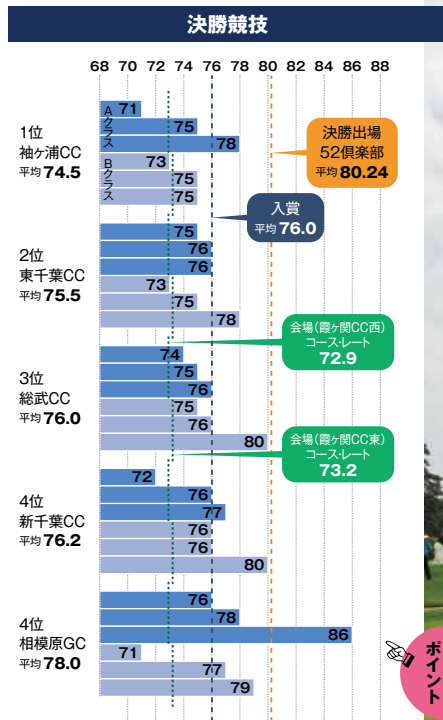
関東倶楽部対抗予選会場という大役
を仰せつかり、皆さまに満足のいくお
もてなしをできたが不安なところもあ
りますが、皆さまのご支援、ご協力を
もちまして、無事に表彰式にこぎつけ
ることができましたことを、心より御
礼申し上げます。(富士カントリークラ
ブ支配人 古庄和裕)



富士CCの代表選手と応援の皆さん。



スコア確認にはチームメイトも立ちあって。



快晴の決勝競技は
千葉の四強が激突！



決勝のポイント

難コースの霞ヶ間CC東・西を舞台に、ハイレベルの闘いとなった。全出場倶楽部の平均が80を超える中、入賞の5倶楽部の平均スコアの76は、まさに驚きのひとつ。夏の強烈な陽射しをはねのけて、特にAクラスの粘りは称賛に値しよう。「団体戦にはラッキーがありません」(代表選手)の感想は、数字にも現れているように感じる。

関東倶楽部対抗・男子 DATA FILE

数字で読む『関東倶楽部対抗』の
勝敗ラインが見える

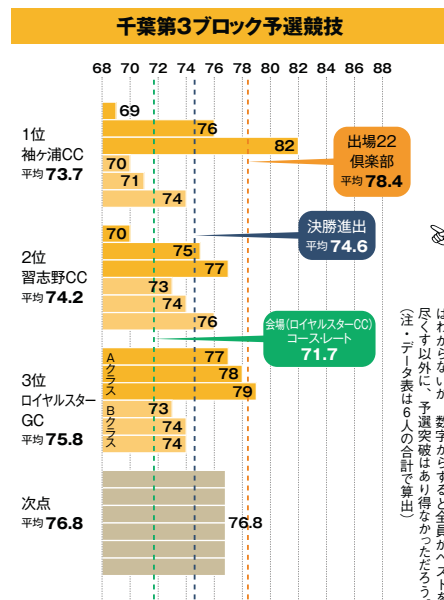
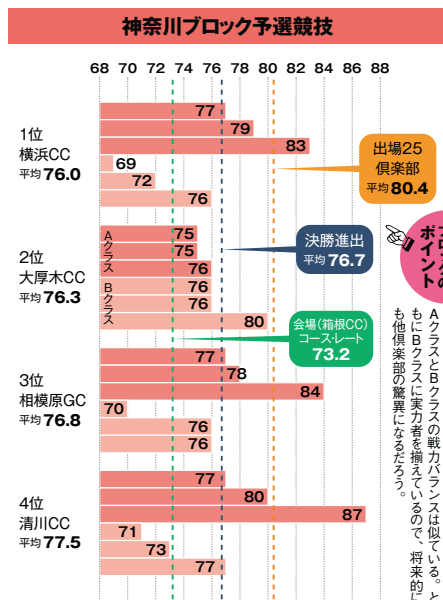
今年の関東倶楽部対抗は、千葉県の3ブロック予選競技を勝ち抜いて、決勝競技に進出した倶楽部(優勝4位)と、神奈川県から選出のチーム(5位、6位)との優勝争いとなった。競技会場にパソコンを持参し、選手ごとに試合展開を分析する倶楽部もある。まさにハイテク情報戦で、数字を読むと団体戦ならではの攻防や、心理面の影響まで見えてくる。

決勝競技で上位独占の、千葉県の3ブロック予選競技と神奈川県プロック予選競技、そして決勝競技を分析してみよう。

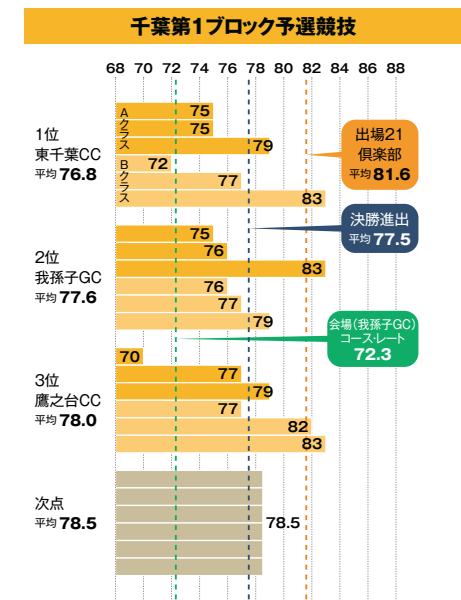
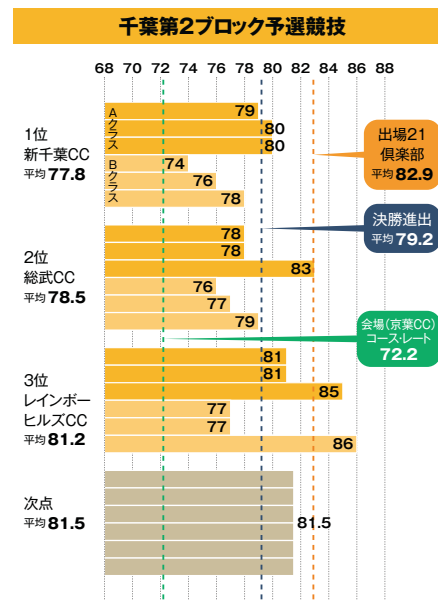
厳しい予選プロック競技を勝ち抜いたチームは、個人の爆発的なスコアが大きく貢献している。つまり「攻め」の姿勢で、チーム全体をリードした結果だろう。「ONE FOR ALL」こそ、サバイバル戦のカギだ。

逆に決勝競技となると、6選手が平均的に能力を発揮する。これは「守り」の戦略の現れかもしれない。興味あることに、予選競技ではBクラスがAクラスをカバーし、決勝になるとAクラスの選手たちが経験を活かして、サバイバル戦を闘った選手が数字で読み取れる。

出場全選手の平均スコアと比較すると、予選を突破したチームも決勝で入賞したチームも、まさに一重なのだ。



競技方法は、A・Bクラス8名の出場で、上位6名の合計スコア。この方法が選手にどのような影響を及ぼすかはわからないが、数字からすると全員がベストを尽くす以外に、予選突破はあり得なかつたであろう。(注・データ表は6人の合計で算出)





ウェアもゴルフバッグも、夏の陽射しに映えてカラフルに。



応援は松林の日陰が特等席。

「娘（里菜さん）が自分を超越してくれることは、なによりも嬉しいことです。それよりも、5年前に亡くなった主人（霞ヶ関CCの会員だった）が、初開催となる関東女子倶楽部対抗～報知杯～の、霞ヶ関CCの優勝を一番喜んでくれると思います」

最優秀選手は矢嶋里菜さん（霞ヶ関CC）の70だった。
酷暑のラウンドは体調管理が不可欠
女性にとっては難コースとの戦いに加えて、強烈な紫外線防止対策も課題

だったはず。しかし意外にも……、「ラウンド中に日焼け止めクリームを塗ると、汗と混じってクリップが滑ります。女子プロの中にはテレビ中継ホールの直前で、メイクを直す人もいますが、アマ競技の場合はスロープレー防止もあって、プレーに集中していま



霞ヶ関CCの母娘へア 喝采を浴びて球史を飾る



女子競技の新たな門出。
狭山の丘に流れる
順風をはらんで堂々と。

平成22年度関東女子倶楽部対抗競技～報知杯～決勝競技は8月23日、狭山ゴルフクラブで開催された。西・東コースは気温33・8度を超える猛暑に見舞われたが、参加39倶楽部の156名の代表選手は一人も棄権せず、失格した倶楽部もなかった。
各倶楽部4人（50歳以上が2人）の、18ホール合計ストロークによる競技で、スコアの途中経過はディスプレイ画面に、ハーフ終了ごとに選手個々に表示された。その度に倶楽部の順位は変動したが、埼玉予選1位の霞ヶ関CCと茨城予選1位のニッソーCCが、終盤まで激しく競り合った。
初の王座についた霞ヶ関CCは、浅川・矢嶋ファミリーの、母娘コンビの息の合った健闘が光った。霞ヶ関CCの矢嶋智都さんの話し。



平成22年度 関東女子倶楽部対抗～報知杯～決勝競技

平成22年8月23日(月)
狭山ゴルフクラブ 西・東コース (5894Y・Par72)
参加倶楽部数: 39



2位 ニッソーカントリークラブ / 316



3位 東京湾カントリークラブ / 316



4位 成田東カントリークラブ / 318



5位 新千葉カントリー倶楽部 / 323



優勝 霞ヶ関カントリー倶楽部 / 307



「(某代表選手)と、スポーツウーマンらしい回答が多かった。
「ラウンド中の水分補給は、十分に注意しています。塩分補給も梅干しや塩アメなどで、欠かさないよう工夫しています。競技当日の猛暑を予想して、対応策を研究しました」(某監督)

ウェアも発汗吸湿・放熱性に優れた新素材のユニフォームで揃えるチームが大半で、日傘や保冷剤などを活用する人も多く見られた。こうした暑さ対策と日頃の順応力が、健康上のトラブルなく競技を終了できた要因のひとつだろう。



歴史的な女子競技の成功を祝して乾杯。右からKGA竹田理事長、内藤競技委員長、KGA高橋副理事長。



狭山GCのグリーンキーパー、大和田弘之さん。

刈り高4.3ミリ、硬さ10.5にして理想的なコンディションに

コース管理歴15年の大和田弘之キーパー(38歳)は、当日の競技設定の苦心を語る。「この夏の異常高温はグリーン(ペンクロスベント)にとって、大きなストレスとなりました。正直なところ、枯らさないことを優先し、日中でも撒水して準備しました。コンディションは通常どおりですが、内藤競技委員長にお褒めいただき、大変光栄です」



狭山GCの選手の皆さん。

For The Teamの 気持ちを大切に育てて下さい。

(霞ヶ関CC・矢嶋智都子さん)

決勝競技は4人の合計ストロークで競う。
2位に9打差をつけて初優勝した霞ヶ関CCチームは、
キャプテンの矢嶋智都子さんと最優秀選手賞の理菜さんの母娘。
さらに浅川弘子さんと洋子さんも母娘で、夫であり父である
浅川辰彦氏は関東アマの優勝者「霞ファミリィ」とは？ (掲載は回答の到着順)

倶楽部を語る時に「良
家の子女のような」と喩
えることがある。武蔵野丘陵に理想の
地を得て、草創期の名手(東・赤星四郎、
藤田欽哉、改造・C・H・アリソン／
西・井上誠一)の手で設計され、開場
以来81年間、会員によって大切に育て
られてきた。コースにクラブハウスに
漂うセレクトリリーの品格は、まさに家
族的な愛情そのものの継承ではないか。

競技開催においても、霞ヶ関CCは
今日の隆盛の起源(昭和32年のカナダ
カップは、我が国初のテレビ中継と
なっている。
ここに集う女子倶楽部選手の素顔が
知りたくて「カスミ」のペールを少しだ
け取っていただいた。母として、娘と
して、妻として、社会人としての顔。

浅川洋子さん	矢嶋里菜さん	矢嶋智都子さん
みずがめ座	乙女座	さそり座
O型	O型	O型
38年	10年	39年
両親の影響	家族旅行がきっかけです	家族中がゴルフを していたため
昔すぎて覚えていません	140ぐらいだと思います	120？
82	78ぐらいです	88
32	数えていませんが 30ぐらいかな……	32
190ヤード	230ヤードぐらい	175ヤード
50回	数えていませんが50回	80回
月に4回で1回に80球	月に5回で1回に120球	月に4回で1回に100球
なし	特になしです	アプローチ
全部	特になしです	アイアン
浅川辰彦(主人)	いつも感謝の気持ちを 持って、謙虚な選手	ハービー・ベニック
健康を楽しむこと	目の前の1打を楽しんで、 大切にプレーを積み重ねる こと	集中すること
家族でいつまでも 楽しめること	社会人女性競技ゴルファーと して、自分のゴルフを確立し ていくこと	いつまでも楽しいゴルフを すること

家族とゴルフ	映画を観る、料理を作る、 掃除	ゴルフ
無理をしない	整体にいく、美味しい食事	ストレッチ
旅行	香道、読書、旅行	読書、旅行
スキー、水泳、水上スキー	馬術	テニス
週1回1時間ジムへ行く程度	整体とストレッチ	なし
セダン	家族と共用でハリアー	アウディ
好みのブランドあり	好みのブランドあり	衝動買い
万全の対策	万全の対策	UV液程度
急げば1分	急げば20分、 のんびりで40分	急げば20分
なし	『タッチ』by岩崎良美	なし
興味なし	チョコレート	興味なし
付き合い程度	付き合い程度	付き合い程度
なんでも	チョコレート、春巻き	なんでも
特にありません	生のトマト	トマト
7月、8月はとても暑い時で すので、体調に充分留意して 下さい。	チーム一丸となって 同じ目標に向かい、優勝を 目指して戦いましょう！	For The Teamの気持ちを 大切に育てて下さい。

名前	鈴木輝子さん	小山ひろみさん	浅川弘子さん
星座	うお座	かに座	天秤座
血液型	AB型	B型	O型
ゴルフぶり			
ゴルフ歴	15年	20年	16年
ゴルフを始めた動機	夫にすすめられて	父のすすめ	両親の影響
初ラウンドのスコア	126	130ぐらい	？
現在のラウンドの平均スコア	88	78～90	77.8
ワンラウンドの平均バット数	36	？	30
ドライバーの平均飛距離	190ヤード	200ヤード	230～240ヤード
年間のラウンド数	80回	60回	30回
毎月の練習量	月に2回で1回に70球	月に3回で1回に200球	0回
得意技	ドライバー	ドライバー	—
不得意	アプローチ、バット	アイアン	なし
尊敬するゴルファー	—	—	浅川辰彦(父)
ゴルフで一番大切なこと	集中力と忍耐力	アマチュアなので、とにかく楽し んでゴルフをすること。 あとは練習あるのみ	ゴルフを通じて世界を 広げること
今後の目標	自分には集中力と忍耐力を、 忘れないようにする。でも楽し くなければゴルフじゃない！	ハンディキャップを維持できる ように、そのための練習をする こと	長く続けていくこと
日頃の生活			
休日の過ごし方	のんびり読書とテレビ	テレビでゴルフを観る、 孫と遊ぶ	家族とゴルフ、友人とご飯を 食べに行くこと、テレビ
日頃の健康管理	早寝早起き	ストレッチ	野菜ジュースを毎朝飲む
ゴルフ以外の趣味	編み物、織り物	旅行、手芸	読書、お買い物、旅行
過去のスポーツ歴	バスケットボール、テニス	テニス、スキー	スキー、水泳
トレーニングなどの運動	初動負荷トレーニング	特にしています	特にない
マイカー	家族と共用でトヨタ	ベンツ	ワゴン
ゴルフウェア	好みのブランドあり	好みのブランドあり	無頓着
日焼け防止	万全の対策	UV液程度	万全の対策
ラウンド後の身だしなみ	急げば15分、 のんびりで30分	急げば15分～20分	—
得意なカラオケ曲	なし	なし	なし
携帯の待ち受け画面	興味なし	—	興味なし
酒	付き合い程度	飲まない	飲まない
好きな食べ物	お寿司	なんでも	好き嫌いなし
苦手な食べ物	スジコ	香りの強い野菜	特にありません
関東倶楽部対抗、 出場選手へひと言	チームワーク、信頼、感謝の 気持ち。今年の我がチームには 揃っていました。	個人のスポーツであるゴルフで すが、倶楽部対抗は仲間が協 力合って、力を出す素晴らしい 経験ができます！	チーム一丸となって 頑張ってください。



霞ヶ関CCのコース管理を一手に担う清水優子クリンキパー(コース管理部部長、43歳)は、米国留学で最新コース管理技術を学んだプロフジシヨナル「生き物である植物が相手ですから、気象、土壌、薬学などの全知識が必要で。さらに経験や勘も大切で、毎日欠かさず植物を観察しています。地元生まれですから、子供の頃から同じ空気で育っています」



新潟ブロック予選競技

平成22年6月10日(木) 新津カントリークラブ (5767yards Par72)
参加倶楽部数: 16 決勝進出倶楽部数: 4



1位 新発田城カントリー倶楽部 / 330



2位 笹神五頭ゴルフ倶楽部 / 330



3位 新津カントリークラブ / 342



4位 フォレストカントリー倶楽部 / 348



描いのユニフォームが
チームの和。



スコア確認で競技終了。



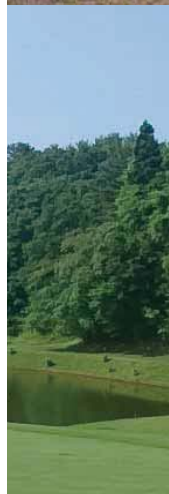
越後平野から日本海、
佐渡島を一望する景観が
女子選手の緊張を和らげる。



KGA常務理事、本大会会長の
齋藤文志郎氏。



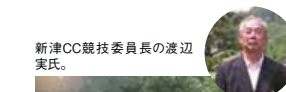
新津CC理事長の小松原金
二氏。



カラフルなバッグの林立は女性の競技ならではの。



事務スタッフも全員が現場へ。



新津CC競技委員長の渡辺
実氏。



運営委員もコースに待機。

CNC

新潟 ブロック

新津カントリークラブ

成績表の前はため息と 歓声で騒然とした雰囲気

新津カントリークラブは快晴微風、
気温26度、グリーンのスピードは9に
設定されたコースで、新潟県内16倶
楽部より選ばれた80名の選手たちの戦
いが始まった。

コース設定は3月下旬のコース下見
よりはじまったが、当日は前夜からの降

雪で一面雪景色。田中競技委員長はし
め、キーパー、当倶楽部競技委員長等、
雪でカートが入れないため、乗用車で
のコース下見となった。

当日は硬く締まったグリーンで、下
りのラインを残すところかなり厳しい設定
となり、普段はサービスホールと言わ

れるところの難易度が一番であった。
大会は女子の大会だけあって、華や
かなものではあるが、個人の成績が反
映される団体戦のためか、緊張感が
漂っていた。

ホールを消化する途中で疑問が発
生、競技委員長に無線が入り、キーパー
を呼び対応する場面もあったが、ほぼ問
題なく競技は終了した。

コース側の対応としては、女子のみ80
名というのは未体験で、ロッカー数も足
りず、急きょ男子ロッカーで対応。また
浴室も男子の浴室を使用するという対
応でまかなったが、前日の通常営業の終

了後 男女の入れ替え、また競技終了後
に入れ替えという作業を行った。

成績面では優勝と準優勝が4人目ま
で同スコア、最後の5人目で決着がつ
くという僅差で争われ、スコアボード
の前ではため息、歓声と一緒に騒然
となっていた。

しかし大会自体になんの問題もなく
無事終了でき、最後は倶楽部職員一同
で参加選手を見送り、「関東女子倶楽
部対抗新潟ブロック予選競技」の会場
としての使命を終了した。

(新津カントリークラブ業務運営部長
代理 天野 務)

山梨ブロック予選競技

平成22年6月11日(金) 甲斐駒カントリークラブ(6022yards Par72)
参加倶楽部数：22 決勝進出倶楽部数：5



1位 南長野ゴルフクラブ/316



2位 オリムピックカントリークラブ/329



3位 長野カントリークラブ/334



4位 裾野カンツリークラブ/335



KGA稲川理事。



●天候／晴れ
●グリーン刈り高／3・5リ(シングルカット) スピット(ステータスメーター使用)10リ
ティググラウンド
刈り高12リ／FW
刈り高18リ／FW
刈り高40リ

過去何度が倶楽部対抗競技には参加しており、昨年度内で開催された関東倶楽部対抗と報知新聞杯では、当倶楽部が男女ともに優勝しました。開場35周年にあたるこの年に、KGA主催の記念すべき第1回目の開催倶楽部となることを大変光栄に感じる反面、競技大会の開催を経験したことがないスタッフが多いことに、大きな不安を感じていました。

受け付けが始まると、普段女性が多いので多く集まることのないクラブハウスの中は、とても華やかでした。前日に夕立ちがあり、天候を心配したのですが当日はよく晴れ、グリーンキーパーがこの日目標に数ヶ月前から計画をたて、最高のコンディションに整えました。

早朝から集まった各倶楽部の代表選手が、次々にスタートしていく姿を見ていると所属倶楽部に関係なく、本当に皆さん凛々しく美しく感じます。

18ホールのプレーを終え、スコアボードに数字が記入されるたびにざわめきが

甲斐駒カントリークラブ 3県合同開催でハイレベルな戦いに。来年こそ！

聞こえ、終盤には歓声もあり、チームがひとつなつて一喜一憂していました。

今回は静岡・長野・山梨の3県が1ブロックとなる予選競技会で、残念ながら当倶楽部は決勝への出場はなりませんでしたが、代表選手の中には他県のレベルの高さに関心するとともに、来年こそ！という意気込みが感じられ、普段は会員様として接している倶楽部側スタッフもさらに応援し、支えていきたいという気持ちになった素晴らしい大会でした。(甲斐駒カントリークラブ支配人 篠原芳英)

標高600メートルの涼風が
選手の熱き思いを
優しく癒してくれる。



山梨 ブロック

群馬ブロック予選競技

平成22年6月8日(火) 草津カントリークラブ (5963yards Par72)
参加倶楽部数: 16 決勝進出倶楽部数: 4



1位 藤岡ゴルフクラブ / 340



2位 白水ゴルフ倶楽部 / 343



3位 甘楽カントリークラブ / 348



4位 伊香保国際カントリークラブ / 349



KGA相澤常務理事より優勝の藤岡GCへ賞品の授与。



競技の朝、一瞬の静けさ。



群馬 ブロック

草津カントリークラブ

群馬代表倶楽部の 名誉を懸けて緊張のスタート

天候は曇り微風、また緊張の中で選手各人がティショットしスタートして行きました。1番と10番ティが両隣のため、1番ティより先にプレーし、続いて10番と交互に気を遣いながらのスタートのため、ハーフターンとともにインコースの遅れがありました。

インの12番は右の170ヤード付近に池があり、トラブルが多く遅れの要因でした。全体的にインコースの方が狭く、グリーンも傾斜が強いため、スコアを崩す選手が目立ちました。優勝された藤岡ゴルフクラブ様は全員80台のスコアで、チームが一丸となった結果の勝利だと思います。ベストスコア賞は伊香保国際カントリークラブの都丸美佐子さんと、草津カントリークラブの斉藤三津子さんの2人が、78ストロークのベストスコアでした。

16参加倶楽部のうちの4チームが決勝大会に進出し、倶楽部の名誉を懸けて本大会に挑みます。群馬ブロック代表として、上位入賞を目指すよう応援いたします。

またゴルフ場事務局として、選手変更および申し込み方法の理解不足のため、若干のトラブルがありました。事務局会議およびキャプテン会議等で細やかな説明、連絡等が必要と感じました。

また、開場44年を迎えた歴史と、高原リゾート特有の爽快感あるゴルフコース



成績表の前に多くのギャラリー。



次回を期して散会……。

にて大会が開催され、選手各位にもお褒めの言葉を頂き、コース側も大変満足しております。

最後になりましたが関東ゴルフ連盟様、大会会長の相澤伸幸様、競技委員長の田中克幸様を始め、大会役員および大会委員、メディア報道関係者に厚く感謝し御礼申し上げます。(草津カントリークラブ 小沢圭樹)

●天候 / 曇り 気温 / 15度 微風
●グリーン / 9・5 / コンパクション / やや硬め



左から草津CC代表の、西村香世子、斉藤三津子、大沢百合子、鈴木ちえ子、本多香の各選手。

栃木ブロック予選競技

平成22年6月8日(火)
宇都宮カンツリークラブ 北・中コース (5821yards Par72)
参加倶楽部数: 30 決勝進出倶楽部数: 5



1位 東松苑ゴルフ倶楽部 / 324



2位 鹿沼カントリー倶楽部 / 326



3位 矢板カントリークラブ / 329



4位 芳賀カントリークラブ / 333



存じます。
今回無事に開催倶楽部としての役割りを果たせましたことにつき、携わつて下さったKGAの事務局様と高橋競技委員長はじめ競技委員の皆様には、改めて深く感謝を申し上げます。今回の開催において勉強させていただいたことを踏まえ、今後



5位 車月ゴルフ倶楽部佐野コース / 336

このような大会の会場にご指名いただけるよう、従業員一同努力していく所存でございます。(宇都宮カンツリークラブ支配人 柴田勇一)

ゴルフ史の1頁に記される
初代決勝進出倶楽部の
名誉を懸けて……。



昨年11月にKGAより正式依頼を受けて以来、関東女子倶楽部対抗栃木ブロック大会の開催に向けて準備を進めてまいりました。
特に今回は、主催が栃木県ゴルフ場協議会からKGAに移行して初の開催となる上、プレーヤー全員が女性という

こともあり、ロッカー室、浴室、洗面所にいたるまですべて女性専用にするこ
とや、コース整備、キャディー対策等々、理事長並びに役員はもとより、従業員一同は特別な緊張感の中、KGA事務局のご指導のもと事前打合せをしまし
た。その後行なわれたキャプテン会議

を経て、成功に向けて鋭意努力を重ねてまいりました。
競技当日は曇り、気温25度、微風であり、梅雨入り後としては時折り日差しもある絶好の日となりました。30倶楽部150名の女性選手たちのプレーとあつて、華やかな雰囲気の中、各倶楽部の担当者や応援団など、予想をはるかに超える来場者で賑わいを見せていました。
コース設定としては事前に行なわれた打ち合せ会議において、150名全員が速やかに18ホールを終了するよう、スタート時刻を早めて、難易度を高くしないセッティング
となりまして。
その甲斐あつてか結果として、スムーズに競技が展開できたものと思われま
す。また、競技委員の方々の指導によりスコア集計、掲示なども想定とおりに運べたものと思われま
す。当倶楽部の会員より運営委員となつて下さった4名



の皆様にも活動していただきました。
本大会終了までに参加倶楽部からの来場者は、延べ1000名(指定練習日、大会当日を含み、当倶楽部選手は除く)にも及びました。これは各倶楽部の倶楽部対抗競技への熱心さが伺い
知れ、開催倶楽部としては謹んで敬意を表したいと存じます。
当倶楽部の選手団は、今年3月早々に結団式を行ない、予選通過を目指し日々練習を重ねてまいりましたが、結果は振るわず残念でありました。1位通過をされました東松苑ゴルフ倶楽部の皆様とともに、決勝に駒を進められた各倶楽部の皆様には、決勝の舞台でも大いに腕を振るっていただきたいと



宇都宮CC代表選手と各委員の皆さん。



栃木 ブロック

宇都宮カンツリークラブ 北中コース

延べ千人を超える来場者！
参加倶楽部の熱意に敬意



15位 玉造ゴルフ倶楽部／352



10位 太利根カントリークラブ／343



5位 日立ゴルフクラブ／329



16位 霞台カントリークラブ／355



11位 水戸ゴルフ・クラブ／344



6位 サニーフィールドゴルフ倶楽部／333



17位 阿見ゴルフクラブ／358



12位 セゴビアゴルフクラブ イン チヨダ／345



7位 新水戸カントリークラブ／340



18位 ノースショアカントリークラブ／361



13位 富士カントリー笠間倶楽部／350



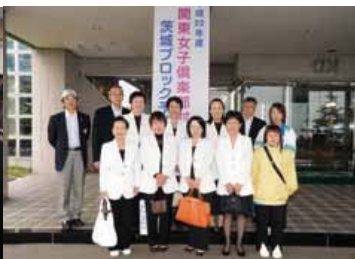
8位 水戸グリーンカントリークラブ／342



19位 取手国際ゴルフクラブ／365



14位 筑波カントリークラブ／351



9位 カントリークラブ・ザ・レイクス／342



茨城ブロック予選競技

平成22年6月8日(火) 日立ゴルフクラブ(5890yards Par72)
参加倶楽部数: 19 決勝進出倶楽部数: 4



1位 ニッソーカントリークラブ／319



2位 扶桑カントリー倶楽部／328



3位 江戸崎カントリー倶楽部／328



4位 桜ゴルフ倶楽部／329



茨城 ブロック

日立ゴルフクラブ

初回大会は大盛況裡に終了 練習場も当日にオープン

大会当日の朝、8時スタート時点の
天気は薄曇りで気温17度。風もなく半
袖では少し肌寒く感じられたが、日中
は海からの風も心地良く感じられる絶
好のゴルフ日和となった。

決勝競技出場の上
位4位までについて
は、ニッソーCCの
上位入賞が早々と決
定したが、2位以降

は大変な混戦で、最終組がホールアウ
トするまでわからない状態だった。2
位と3位が同スコア、さらに1打差で
4位と5位が同スコアで、マッチング
スコアカード方式により決定し、開催
倶楽部の当日立Gチームが5位で涙
を飲んだ。なお大変に素晴らしいスコ
ア(7)を出した横川亜希子さん(扶桑
CC)に、ベストスコア賞が贈られた。
各倶楽部の代表選手を迎えての第1



「女子高生時代に戻ったみたい」
(ある代表選手)

回大会であり、従業員全員で大会の準
備、コース整備作業等を休日返上し
た頑張りにより、トラブルもなく大会
を終了することができた。
練習場の造成については今回の大会
に合わせて、1月14日より雑木の伐採
から工事が始まり、従業員とメンバーの
協力応援によりスタートした。2、3月
は雪や雨の多い中、地盤の造成、ティ
グラウンドの盛土、芝張り、ボール立て、
防球ネットの取り付けが終了し、5月
中旬に19打席、200坪の練習場が完
成し、素人としては立派な出来映えで、
6月5日完成式、6月8日オープンに
至った。工事に携わった皆様に感謝申
し上げます。(日立ゴルフクラブ総支
配人 古山 茂)

埼玉ブロック予選競技

平成22年6月7日(月) 鳩山カントリークラブ (5827yards Par72)
参加倶楽部数: 19 決勝進出倶楽部数: 4



1位 霞ヶ関カントリー倶楽部 / 324



2位 石坂ゴルフ倶楽部 / 329



3位 高根カントリー倶楽部 / 331



4位 鳩山カントリークラブ / 336



KGA高橋副理事長より、矢嶋里菜さん(霞ヶ関CC)にベストスコア賞の授与。



ギャラリープラザは終日、笑顔が絶えない。



最後に女子の倶楽部対抗は男子にも劣らない、いや男子より大勢のギャラリーが予想されますので、来年度の開催会場の飯能ゴルフクラブ様に、そのことを引き継ぎたいと存じます。(鳩山カントリークラブ支配人 真下 浩)



花よりも華麗に
風よりも軽快に
鳥よりも楽しく球宴を謳歌。



埼玉 ブロック

鳩山カントリークラブ

特設のギャラリープラザは
好天の下で大盛況

風もなく晴天に恵まれ、絶好のコンディションのうちに大会が開催されました。女子の倶楽部対抗は初開催ということ、過去の男子の倶楽部対抗を参考に、設営の準備をしました。

当倶楽部はハウス内のスペースでは、ギャラリー休憩所を用意できないと判断して、ギャラリープラザを設営しました。

天気も良く、予想以上のギャラリーの方にご来場いただき、予備の駐車場に誘導するような状況で、駐車場係、シャトルバスのドライバーが大活躍でした。

コース状況や運営につきましては、選手、ギャラリーの皆様よりお褒めのお言葉を頂き、大会が無事に終了できたことに對して、関係各位のご協力に本当に感謝しております。

託び申し上げますとともに、関東ゴルフ連盟事務局の事前の準備、競技委員の努力に對して敬意を表します。

また、当倶楽部もこの経験を活かし、サービス向上に努めて参りたいと存じます。



今回の競技が私にとりましては初めての経験であり、数々の不行き届きがあったと存じます。遅ればせながらお

千葉ブロック予選競技

平成22年6月7日(月)
新千葉カントリー倶楽部 つくもコース (5792yards Par72)
参加倶楽部数: 29 決勝進出倶楽部数: 5



1位 総武カントリークラブ / 324



2位 成田東カントリークラブ / 327



3位 新千葉カントリー倶楽部 / 327



4位 千葉カントリークラブ / 331



つくもコース9番、日差しを避けて木陰から応援。



ベストスコア賞の林恵子さん
(総武CC)。

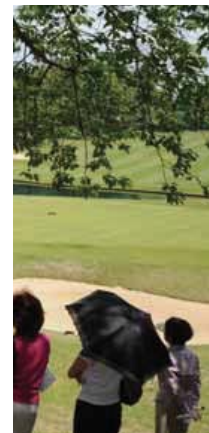


遠征大会会長より優勝ペナントを受ける
総武CCキャプテン。



新千葉CCの選手と関係者が、全員並んでお見送り。

強豪揃い。千葉予選は激戦に。



初めての関東女子倶楽部対抗競技というところから、早いチームは2月頃から練習に登場していました。4月は長雨に悩まされましたが、5月に入ると晴天が続く、練習ラウンドや大会に関する問い合わせも多く、各倶楽部や関係者の感心の高さが感じられました。

大会当日は乗用カートのカーポートに、各倶楽部の応援団席が設けられ、朝早くからお揃いのブレザーを着た選手や大勢のギャラリが来場し、女子プロのトーナメント会場のようでした。

天候は梅雨入りが1週間遅れたこともあり、晴天で気温は26度を超え、日傘や木陰での応援となりました。

予選会場となりました新千葉カントリー倶楽部は乗用カートのカーポートに、各倶楽部の応援団席が設けられ、朝早くからお揃いのブレザーを着た選手や大勢のギャラリが来場し、女子プロのトーナメント会場のようでした。

りー倶楽部は昭和45年オープンで、開場40周年を迎えています。今回の予選会場のつくもコース(18H)の他に、36ホールを一般営業する中で、女性145名の競技を開催するにあたりまして、ロッカー室やトイレの数、そして応援団席に駐車場スペースと、問題が多くありました。

女性ロッカーは数が200台以上あり対応可能でしたが、トイレは応援のギャラリまで含めると、不足が懸念されました。

そこで男子トイレを併立て二つに仕切り、片側を女性専用とさせていただきました。



応援団席の設置につきましても、賛否両論がありましたが、幸い乗用カートのカーポートを上手に利用することができました。

競技は大きなトラブルもなく、最終組が4時30分にホールアウトしました。5時10分から表彰式と懇親会が立食により開催され、大会会長の渡邊満之助様より賞杯の授与並びにご挨拶があり、盛会裡に無事大会を終了することができました。(新千葉カントリー倶楽部総務部長 川崎正則)



5位 東京湾カントリークラブ / 332

東京ブロック予選競技

平成22年6月11日(金) 八王子カントリークラブ (5784yards Par72)
参加倶楽部数: 12 決勝進出倶楽部数: 3



1位 八王子カントリークラブ / 334



2位 立川国際カントリー倶楽部 / 339



3位 東京国際ゴルフ倶楽部 / 341



ホールインワンを達成した遠藤節子さん(八王子CC)に、KGA佐藤常務理事より賞品の授与。



大会が大きな問題も発生せずに終了できたことは、岩田委員長を始めとする競技委員並びに運営委員の方々のご尽力の賜と、感謝申し上げます。

最後に、幸運にも開催コースとしてのアドバンテージもあり、ブロック予選を第1位で通過し決勝戦に進出することができたことは、弊倶楽部会員にとって望外の喜びでありました。(八王子カントリークラブ総支配人 大石順一)

●天候 / 晴れ
気温29度 微風



女子倶楽部対抗の第1回開催コースとして、男子競技とはやや異なる緊張感を持って大会当日を迎えました。

都内では83年より自主運営で、女子倶楽部対抗が開催されてきました。本年より正式競技となったこともあり、スタートでは、やや緊張した表情の選手が多く見受けられました。プレーが開始されると力感あふれるスウィングや見事なりカバリーショット、そしてホールインワン等々、華やかな中にも随所に素晴らしいプレーが展開され、大いに盛り上がりました。また応援者数が自主開催で行ってきた昨年までと一転し、男子倶楽部対抗並みの状況(1倶楽部平均30名程度)となり、応援者用休憩所等を特に設置していなかったこともあり、やや混雑した状態となっていました。しかし、応援者の多さは今大会が参加倶楽部の会員に受け入れられ、盛況でかつ熱のこもったものとなった証ではないかと思っております。

今大会の開催にあたり特に配慮したことは、女性競技としての雰囲気を出す

出することでした。倶楽部対抗競技は「同一地区内の加盟倶楽部間の、懇親をより深いものとする」との目的をもって開催されると同時に、この競技を通して参加各倶楽部会員が、その所属倶楽部への帰属意識をより高いものとする機会でもあると考えます。したがって参加倶楽部のロゴマークと、倶楽部名を集約したパネルを作製し、大会の雰囲気を出して、記念すべきこの



八王子カントリークラブ 地区倶楽部の懇親を主に 大会を華やかに演出

神奈川ブロック予選競技

平成22年6月7日(月) 相模カンツリー倶楽部 (5941yards Par73)
参加倶楽部数: 17 決勝進出倶楽部数: 4



1位 小田原ゴルフ倶楽部松田コース / 325



2位 平塚富士見カントリークラブ / 336



3位 箱根カントリー倶楽部 / 341



4位 大相模カントリークラブ / 341



廣幡KGA常務理事より優勝チームへ賞品の授与。



ベストスコア賞の金子弥生さん (相模原CC)。



ベストスコア賞の加藤理刈さん (平塚富士見CC)。



1打の重み。それが団体戦の結果を左右する。



スコア確認は慎重そのもの。



競技終了後の表彰式会場は、多くの女性で埋め尽くされた華やかな雰囲気の中、黒野美奈競技委員長から成績発表があり、優勝チームから4位までの紹介があった。

その後、廣幡忠淳KGA常務理事から賞品授与、相模カンツリー倶楽部理事、田中競技委員長の挨拶と続き、同倶楽部理事・松澤プロ・キャディ委員長の発声で乾杯後、懇親会は記念撮影などで大いに盛り上がり、各選手とも来年に向けて健闘を誓い合った。

●天候／晴 気温／最高28・6度 平均21・6度 湿度／66・8% 風向／南南東 風速／2・3m/s
●5941yd パー73 ベンチクロスグリーン 速さ／10.1 コンパクション／11 刈り高3・0



神奈川 ブロック

相模カンツリー倶楽部

快晴微風のゴルフ日和に
女子代表選手が腕を競う

戦後の女性ゴルフ史は
相模CCから始まった。
いま、新しい球史がここに記される。



初夏を思わせる好天に恵まれて神奈川ブロック予選競技が、来年開場80周年を迎える相模カンツリー倶楽部で開催された。

17倶楽部の代表選手が県代表4チームを目指して熱い戦いを繰り広げ、小さな砲台グリーン、95個ある深いバンカー、粘っこいラフが特徴のコースに負けずに、各選手とも好スコアをマークした。

整備されたグリーン上では熾烈な順位争いで、予選通過の3位(箱根カンツリー倶楽部)と4位(大相模カンツリー倶楽部)は同スコアで、東名厚木カンツリー倶楽部は惜しくも1打差で涙を飲んだ。



相模CC代表選手とスタッフ、応援団の皆さん。



背中に光るビーズの刺繍が楽しい、成田東CCチームのウェア。「メーカーはスウェーデンのデイリーで、出場のお祝いにと刺繍はサービスで入れてくれました。バイザーもキラキラなんです」お洒落だけでなく、素材も袖ぐりも機能的。

ベストドレッサー賞は芳賀CCチーム。シャツのプリント柄に合わせて、出場記念の小物入れは手縫いで手染め。イヤシナルまで入っている。益子応援団長(右)は、揃いのシャツのボタンだけ、自分好みにつけ替えてあった。参りました。



各倶楽部のブースには、豪華な昼食がドーンと。女性が主役だけに、フルーツやお菓子も山積み。「愛情のこもった手作りのいなり寿司はいかが?」「そうめんはラー油で食べてね」とは、酷暑での主婦の知恵か。漬けものの種類もハンパではなかった。



ママと応援の美保ちゃん(5歳)は「おねーちゃんはゴルフするけど、わたしはまだ」と、しっかりした口調。幼稚園の夏休みの宿題は?「ママのお手伝い。雑巾しぼりを練習しているの」それは将来、ゴルフをやるときに役立ちそう。



ギャラリープラザで飛ぶように売っていたのが、かき氷。いちご、メロン、ラムネの3種で300円。「お祭りの気分で、みんなでワイワイと。ただ……本音を言えば、コースに出ていたかったです。来年に向けて、倶楽部内でも代表選手の座を巡って必至ですよ!」



ポロシャツの下長袖は、高機能素材の優れたもの。日焼け防止と抜群の撥水効果があり、体感温度を下げてくれるとか。「体にフィットして伸縮性もあるので、ショットのときは、肩の回転がスムーズになります」



箱根CCの応援団の皆さんは、大湧谷名物の温泉たまごと、箱根温泉まんじゅうを持参。「このたまごを食べないと、チームの力が出ません」とのこと。黒星みたいですねと突っ込むと「中は白星と、ゴールド(黄身)です!」



遠来の倶楽部は仕出し弁当が主だが、多くは倶楽部の調理師が腕を振るう。そのプロたちの工夫は?「朝の1時間ほどで、バック詰めまで完了」「暑さを考え、多少濃いめに味付け」「食欲増進に、彩り良く盛りつける」とのこと。

関東倶楽部対抗・女子

応援ギャラリーはONE FOR ALL
芝の上の球宴もALL FOR ONE

DATA
FILE

朝のうちは、代表選手と応援のギャラリーの、ウェアが違う倶楽部が目立った。その理由を尋ねると「選手は午前中は私服でラウンドし、午後のラウンドでお揃いのユニフォームに着替え、パーティー用にもう1着用意しています」(総武CC)と、単純に暑さ対策だった。

ウェアを揃えるのも工夫があるようで「シャツはまとめて買い、倶楽部名は専門業者にプリントしてもらって、とても経済的」なんだとか。シビアな戦いの中に色彩の花があり、笑顔には華が溢れていた。

最年長出場の上條滋子さん(72歳・穂高CC)は、長野県から2時間半も自ら運転して出場。「ゴルフを愛し、試合に出場し続けることが元気の素です」と、翌日は関東女子ミッドの予選(カレドニアンGC)に挑戦した。



コース内に特設されたギャラリーテント村には、来場者1000人に対応して簡易トイレも設置。倶楽部によっては、スイカが丸ごと冷やせる大きなクーラーボックス持参も珍しくなかったが、駐車場からの運搬に男性陣は大汗。「飲料と水が、こんなに重いとは!」



from

Kanto Golf Association

平成22年度関東ジュニアゴルフ選手権

(7月28～29日 袖ヶ浦カンツリークラブ 袖ヶ浦コース 気温26.8度／曇り
／風向／南南西／風速6m/s)

阿久津未来也君がリードを守り初優勝 成田美寿々さんは逆転優勝を飾る

関東ジュニアゴルフ選手権最終日は、前日に引き続き男女15～17歳の部と、男女12～14歳の部のそれぞれ18ホールストロークプレーを行った。男子15～17歳の部は前日、64のベストスコアでトップに立っていた阿久津未来也君(作新学院高1年)が、この日も安定したゴルフを展開し、通算－2の142打で初優勝。女子の15～17歳の部は成田美寿々さん(拓殖大学紅陵高3年)が、この日66という驚異的なスコアで回り、通算－6の142ストロークで逆転優勝を飾った。この日に登場した男子12～14歳の部はプレーオフの末、加藤政和君(聖望学園中2年)が、同女子は長谷川理那さん(鶴ヶ島南中3年)がそれぞれ優勝した。



男子15～17歳の部優勝●阿久津未来也君
「17番ボギー、18番ダブルボギーが悔しくて、監督やチームメートに祝福されるまでは負けた気分。梅山先輩の連覇を引き継いで、作新学院3連覇を果たせてホッとしています」



女子15～17歳の部優勝●成田美寿々さん
「雨でラフが重くなると考え、フェアウェイキープを心掛けた結果が、自分でもびっくりの8アンダー。勝負どころのパットも決まりました。今年2月からコーチのすすめで、テニスのラケット打ち練習をして、低い球も打てるようになりました。これで雨や風も平気。将来は体育大学に進学する予定です」



男子12～14歳の部優勝●加藤政和君
「プレーオフは雨と風が強かったけど、暑い中より雨の方がやりやすいくらい。父親(豊さん)に教わってゴルフを始めて5年、ドライバーショットの飛距離は240～250ヤードです。今日はお昼ご飯抜きでプレーしたので、今は腹ペコ」



女子12～14歳の部優勝●長谷川理那さん
「両親がゴルフ好きで、自然に小学校3年から始めました。本格的に試合に出るようになったのは、小学校6年からです。中3になった今年の5月には「埼玉県ジュニア」で優勝して、すぐにこんな大きな試合に勝てて、本当にうれしい！」

ブロック予選競技の記事は、開催倶楽部による原文のまま掲載しました。

KG A^{NO. 104} GOLFER'S NEWS

平成22年9月20日発行
KGA GOLFER'S NEWS No.104

発行所／関東ゴルフ連盟
〒104-0061 東京都中央区銀座8丁目18番11号
銀座SCビル4階
TEL 03-6278-0005 FAX 03-6278-0008

ホームページ <http://www.kga.gr.jp>

発行人／竹田恒正 編集／広報委員会

編集後記

創刊104号を迎えました「KGA GOLFER'S NEWS」は、一貫して関東ゴルフ連盟広報委員会による、自主制作の編集体制を堅持しております。また昨秋発行の100号記念号からは、連盟内機関誌の方向から1歩前進し、広くアマチュア競技を主体に情報を提供する広報誌へと、編集方針を転換しております。

さらに、この『関東倶楽部対抗特集号』では、多くの加盟倶楽部各位にも編集にご参加いただきました。各ブロック予選会場となった倶楽部各位に、競技当日の取材、写真撮影、原稿執筆までをお願いしたのです。その傑作写真の量たるや膨大な枚数で、開催倶楽部各位の熱気にはただただ圧倒される思いでした。今後もKGA加盟の全倶楽部との、双方向の情報交換の場となるよう努力いたします。編集にご協力いただいた関係各位に、心より感謝申し上げます。(広報委員長・塚原裕)